
技術の日立
HITACHI
「何かと何かが出会う所」「接触面」という意味の言葉、Interface。「マン・マシン・インターフェイス」というように使われます。人と機械が交わる所、つまり入出力装置や端末装置のことです。しかし、日立はInterfaceをもっと大きな意味でとらえたいと考えています。近年、高度に進歩した機械の多くは専門家のものでした。操作に知識や熟練を要するからです。人間が機械に合わせていたといってもいいでしょう。でも、これからは機械の方が人間の側に歩み寄る番です。実現には、きわめて高度な技術の数かずが必要。しかし、そんな技術こそが人間と機械の新しい関係をつくり上げるカギ、すなわちInterfaceであると考える日立は、あえてこの課題に挑戦してゆきます。
技術との自由な対話
Interface
株式會社 日立製作所 〒101 東京都千代田区神田駿河台四丁目6番地 TEL東京(03)258-1111(大代)

ロサンゼルス・オリンピック
アジア予選　日本開催が決定!!

AHF・IHFの決定遅れる

ロサンゼルス・オリンピックまであと一年と迫ってきた。

ところが、そのアジア地域予選について、開催国、予選方式等、国際ハンドボール連盟(IHF)、アジアハンドボール連盟(AHF)とも何ら決定していない。

日本は、その早期決定を求めてきたが、IHFから一任されているかっこうのAHFは、今年の3月21日になってようやく理事会を開いたが、その原案は、IHFの意向により、この9月下旬にソウルで開催される第3回アジアハンドボール選手権大会と兼ね、その勝者をオリンピックのアジア代表とする、というものであった。

これに対しては、AHFの副会長国でもある中国が反対したため、この原案は理事会を通らなかった。中国は、韓国とは国交がないので、既に決定しているアジア選手権大会は放棄するが、オリンピックのアジア予選だけは棄てるわけにはいかない、というものであった。

日本の荒川清美理事（日本協会副会長）も、強く男女予選の日本開催を要望した。

結局、この日の理事会では決定するまでには至らず、改めて各国の意見を聞くことになった。

数日して、AHFから文書で開催の意向を質してきたので、日本協会も、改めて、男女とも日本で開催の用意があると回答した。

その後何の連絡もなかったところ、5月上旬AHFの事務局長A・ハッサン氏（パキスタン）が、韓国経由で、何の予告もなく、私用でと言って日本を訪れ、荒川理事に対し、アジア予選をアジア選手権と兼ねたい意向を表明したが、荒川理事がそれは中国が了承したのか、また、アブ・サバー会長（クウェート）も了承しているのかと質したところ、それは同事務局長の個人的見解だというので、荒川理事は、あくまで日本開催を要望する、と日本の固い決意を表明した。

このように、不可解な動きがあったので、日本協会は5月13日付手紙でAHFに対し日本開催を早く決定するよう求め、さらに6月2日テレックスでこれを催告したがナシのつぶて。

渡辺和美IHFアジア担当理事の話によれば、AHFに対し、エントリーした国等をテレックスで照会しているが、やはりナシのつぶてだそうで、IHFとしては、11月日本で開催するしか方法はないだろうということだった。

ロサンゼルス・オリンピック
アジア予選大会組織委員会を発足

AHF、IHFのアジア予選に対する決定が全然進退しない状況において、中国もAHFに対し日本開催を強く要請していることが、最近中国から日本協会に届いた手紙で明らかとなり、韓国も9月のアジア選手権に関する連絡文書ではアジア予選に関して何も触れておらず、渡辺IHF理事に対しても国家予算をとるために日本の予選日程を照会してきたそうで、東アジア地区では日本開催に異存はないし、その方向へ向かいつつあると見てよいだろう。

このような動きの中で、日本協会は、去る6月18日常務理事会を開催し、男女アジア予選の11月日本開催を前提とした準備体制を決定した。

日本開催を予定しての大会組織委員会も、左記のとおり決定し、予選突破を目ざして頑張っている強化の現場を側面的にバックアップすることにした。

ロサンゼルス・オリンピック
アジア予選大会組織委員会

■会長　斎藤英四郎
■副会長　荒川清美、武田喜三
■組織委員長　大野金一
■同副委員長　安藤純光
■総務担当　村田弘、岡本正豪
庶務、実行予算の編成、会計、開催地との連絡、レセプション記念品
■渉外担当　境井秀三
IHF、AHFとの交渉、参加国（大使館を含む）との連絡、招待者
■広報担当　滝口三郎
PR、放映・放送の交渉、プレスサービス（前後）
■外国選手団担当　高田日呂美
交通、宿泊、通訳の手配
■日本選手団担当　男子・北川勇喜、女子・平岡秀雄
交通、宿泊、選手団との連絡
■競技担当　安藤純光
代表者会議、会場指導（アトラクションを含む）、競技の管理
■審判・記録担当　岡前義春
審判団との連絡、記録の管理

6月末に大野専務理事より以上の原稿をいただいたが、その後、AHFより手紙が届き、11月12日から17日の間に日本にてロサンゼルス・オリンピック・アジア地区予選を行なう旨の連絡があった。詳細については未だ不明で、次号にてお伝えする予定である。

『ハンドボール』
58年7月号(第220号)目次

フランス・ナショナルチーム来日

オリンピック予選に向けて 絶好の"テストマッチ"

全日本男子の国内オリンピック・トライアルの相手は、名門フランスに決まった。

日本協会は、今秋のロサンゼルス・オリンピック予選(詳細未定)に備える強化策の一環として、国際試合の開催を計画していたが、このほどフランス・ナショナルチームの招待を決定、別掲のとおり全6戦の日程を発表した。

フランスは、今春のロサンゼルス・オリンピックヨーロッパ予選(第4回世界選手権Bグループ)で8位に終わり、オリンピックへの道は閉ざされてしまっているが平均年齢25・4歳という気鋭の布陣は、専門家筋から「80年代後半もっとも飛躍が期待できる国」という定評を得ており、オリンピック予選のメンバーがそっくり、来日することになっている。

迎え撃つ日本勢は、新コーチングスタッフによる全日本が3試合を行うほか、日本リーグ上位の湧永製薬、本田技研鈴鹿、クラブ界の名門・徳山ク(山口)が各1試合を交える。

シリーズの焦点は、なんといっても全日本の試合ぶりだ。

昨秋のアジア大会(ニューデリー)で中国に惜敗、今秋のオリンピック予選の予断を、にわかに許さぬものとしたが、日本協会は、新年度早々、これまで8年余にわたり日本のベンチを預っていた竹野奉昭氏に代って、市原則之氏を新監督に起用(既報)、コーチ陣にミュンヘン・オリンピック当時のスター・近森克彦、野田清氏を迎えるなど、「フレッシュ全日本」への切り替えを果たし、オリンピック代表権奪取に、意欲的なスタートを切った。

モスクワ・オリンピックのボイコット、アジア大会での敗退と"悔しさ"を胸にする山本主将以下蒲生、池ノ上、大畑らを中心とした選手たちも、西山、田口、高村、上村ら新進の加入があって気分を一新、5月以降の強化合宿を順調に消化してきている。

この機をとらえて、フランスを迎え、腕試しを行うのは、コーチングスタッフにとっても、選手にとっても「絶好のタイミング」(市原監督)であり、9月ソウルでの第3回アジア選手権を経て、オリンピック予選に万全の態勢で臨めることになる。

フランスとの対戦は、これまでに6試合あり3勝3敗、5ケ月前の顔合せも1勝1敗と互角、今回も1点を争う接戦が期待できる。

フルタイムに緊迫感をともなう試合をくり広げることは、秋の本番を前に、大いに意味があり、フランスが、いわゆる長身、大型選手による"力まかせタイプ"ではなく、FPの平均身長184・6cm同体重81kgという均整のとれた体躯から多角攻撃を試みてくるのもトライアルとして申し分ない。

個々の選手ではギャフェ、セリネ、カイロー、ゲオフロイ、シキュ、クーリオール、デシャン、ヌエらが注目される。

いずれも鋭いフットワークを誇りポスト、サイドからのゆさぶりにミドルを交える多彩さをもつ。

また、スカイプレー(フランスでは「カン・フー」とも呼ばれる)も鮮やかなものがある。

本格的なフランスチームの来日は、39年6月のステラ・サンモールクラブ(男子)以来のこと。

ヨーロッパ・ナショナルチームの来日は、一昨年の東ドイツ(ジャパンカップ)以来だ。

なお、フランスは、日本転戦後7月27日韓国へ渡り、28、29日と30または31日に計3試合、韓国チームと対戦する予定。

◆日本―フランスこれまでのナショナルマッチ・スコア(6戦)

フランス 27―14 日本 (昭39・エブリュー)
日本 22―13 フランス (昭45・パリ)
日本 30―29 フランス (昭53・スペイン)
フランス 32―23 日本 (昭56・ストラスブール)
日本 23―21 フランス (昭58・トロイエ)
フランス 30―24 日本 (昭58・レイム)

◇…日　程…◇

7月16日(土)18：20
対湧永製薬(大阪市中央体育館)
7月17日(日)15：00
～NHK教育TV～
対全日本①(横浜文化体育館)
7月20日(水)19：30
対徳山(徳山市体育館)
7月22日(金)18：30
対本田技研鈴鹿(鈴鹿市体育館)
7月23日(土)18：30
対全日本②(愛知県体育館)
7月26日(火)18：30
対全日本③(駒沢体育館)

◇…フランス…◇

・団長　J・P・ピエレル
・監督　J・ニタ
・トレーナー　M・ベネリ
・GK

選手	身長
B・モレル(25)	192cm
P・ブール(25)	189
M・メルロー(27)	187
P・メダール(24)	184

・FP

選手	身長
P・ペルシセッティ(25)	192
B・ギャフェ(24)	191
M・H・ベルンハルド(23)	190
J・M・セリネ(27)	188
J・カサグランデ(26)	185
M・シキュ(24)	184
C・エスパル(23)	184
S・ヌエ(27)	184
L・ニコラ(28)	183
D・デシャン(25)	181
J・M・ゲオフロイ(28)	180
E・カイロー(24)	180
E・クーリオール(27)	179

◇…全日本…◇

・監督　市原則之
・コーチ　近藤克彦
・コーチ　野田　清
・GK

選手	身長
井藤英忠(湧永・24)	185cm
大畑孝広(本田・26)	184
上村幸彦(大同・24)	178

・FP

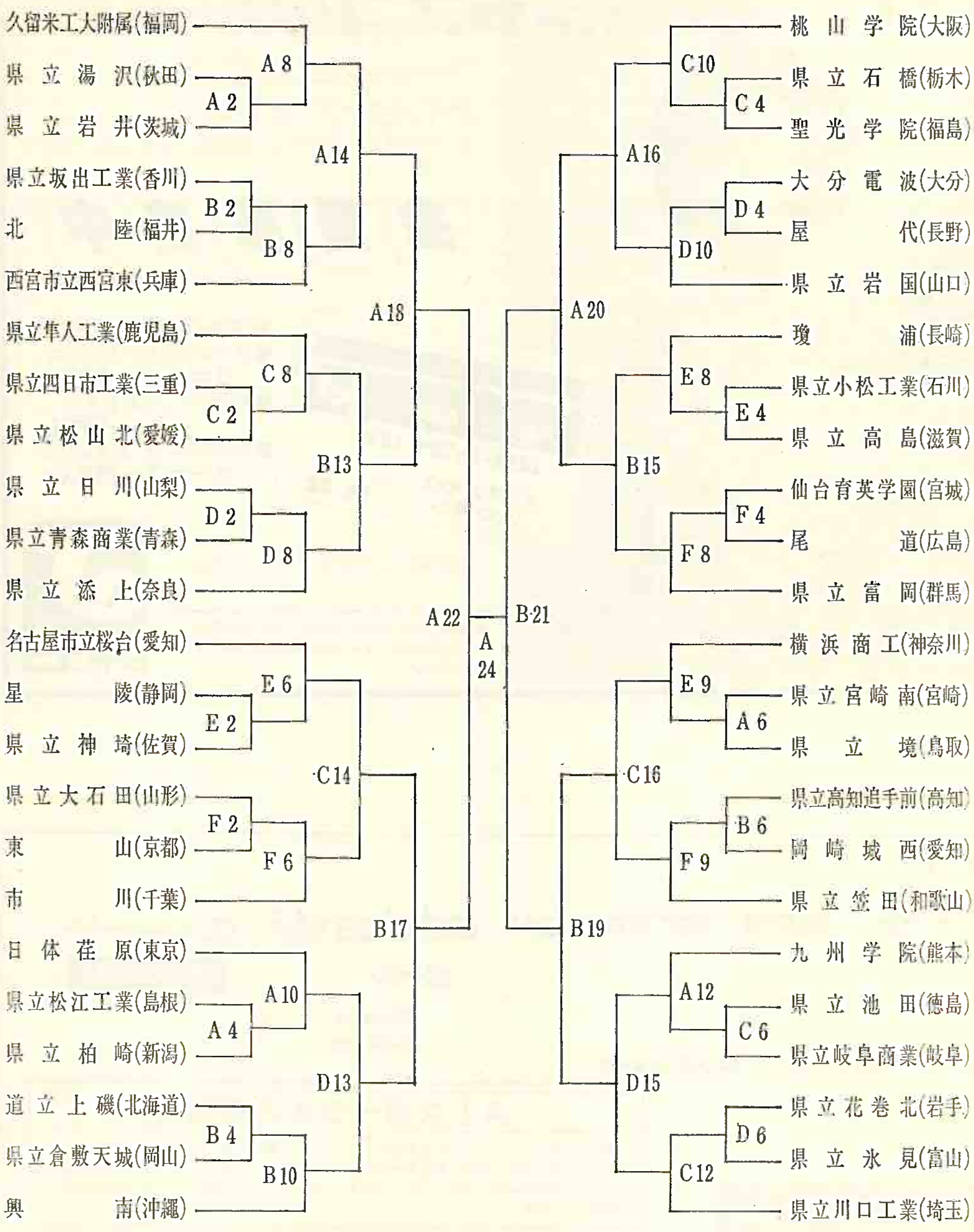
選手	身長
蒲生晴明(大同・28)	192
志賀良弘(湧永・26)	188
高村誠一(大同・22)	188
田口勝利(大同・21)	188
池ノ上孝司(湧永・27)	185
生駒靖夫(湧永・27)	185
中本満明(大同・29)	184
洞ケ瀬直幸(日新・27)	182
西山　清(日新・27)	181
関　健三(三陽・28)	180
松井幸嗣(千葉・25)	180
佐々木信男(本田・27)	178
山本伸二(湧永・29)	176

女子のソ連招待などは断念

日本協会は、全日本女子のオリンピックトライアルとして、ソ連、オーストリアなどの招待を計画していたが、日程などの調整がつかず断念、10月末にチェコ、ハンガリーなどで行われる国際トーナメントへの参加を検討することになった。

昭和58年度全国高校総体組合せ〈男子〉

昭和58年度　全国高校総体組合せ〈男子〉



例年にない　せり合いか

第34回目を迎える高校スポーツの祭典・全日本高校ハンドボール選手権大会は、愛知県豊田市で8月1日から7日まで熱戦がくり広げられる。その組合せが、7月1日、上記の通り全国高体連ハンドボール部から発表された。

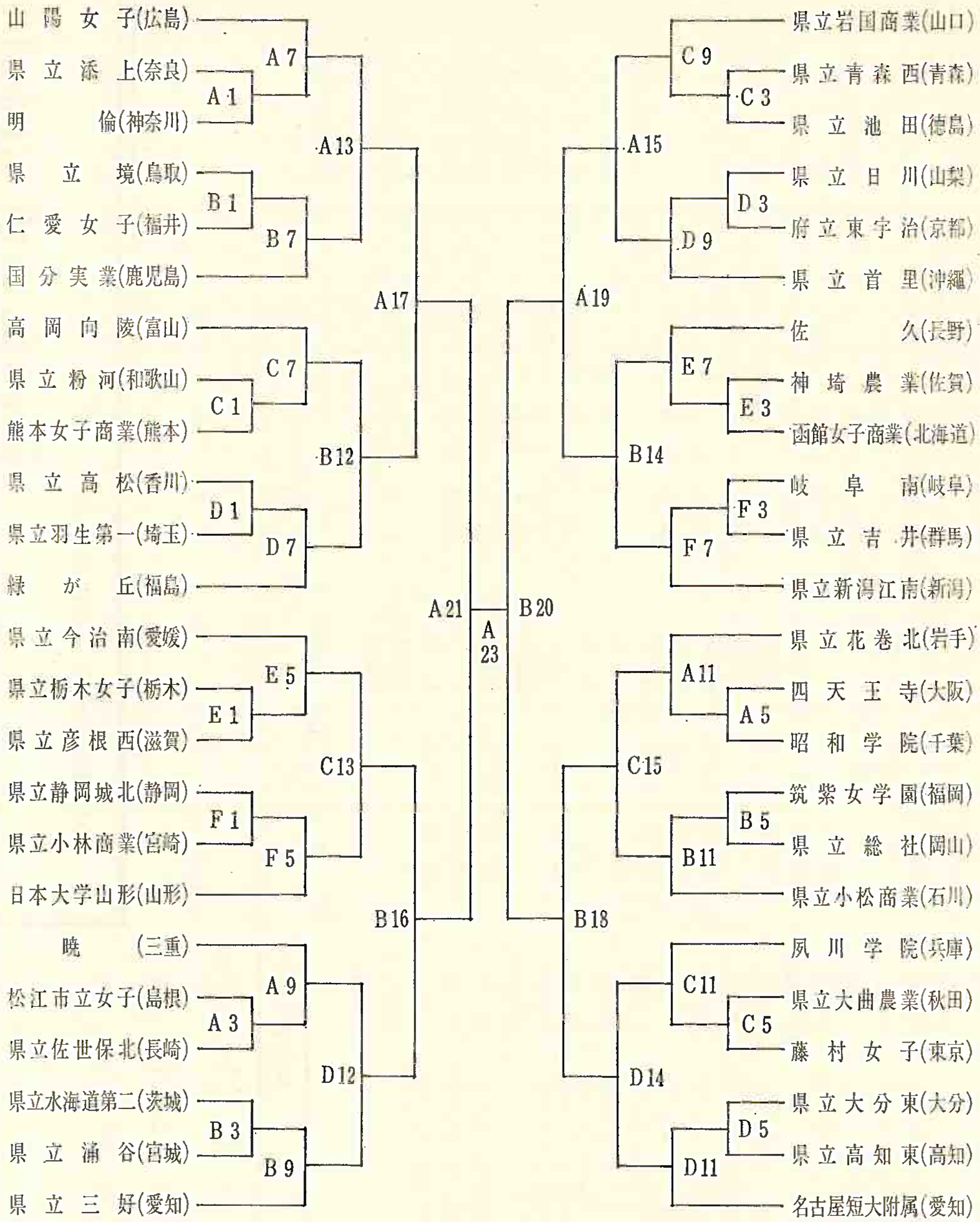
全国各都道府県の代表は、いずれも接戦の末決定され、各地の高校界のレベルアップをものがたっている。今大会は今までにないせり合いが予想され、例年のように男好のベスト4を予想するのがなかなかむずかしい。

その中で、男子では、春の選抜大会で圧倒的は力を発揮し、他の追随を許さなかった久留米工大附（福岡）が史上初の春夏連覇を目ざし一層の充実を計っている。

これに続くチームは、東京の名門・明星を破り2度目の出場を果たした日体荏原、関西の雄・桃山学院、激戦の埼玉を勝ち抜いた試合巧者の川口工、粘りを身上とする富岡、沖縄の興南、また、大会

昭和58年度全国高校総体組合せ〈女子〉

昭和58年度　全国高校総体組合せ〈女子〉



ごとに力をつける氷見(富山)、豊富な経験を持つ湯沢(秋田)などがひしめいているが、いずれのチームも選抜大会当時とは一回り大きくなっての参加なので、より充実した試合が期待される。

一方、女子は春の女王・山陽女(広島)を筆頭に準優勝の名短大付(愛知)、ベスト4の岩国商(山口)、さらには関東ブロックで抜群の力を見せた昭和学院(千葉)、それに栃木女(栃木)、吉井(群馬)などが続き、男子に勝るとも劣らぬ好試合が展開されるだろう。

優勝を狙うことも大切だが、出場することに最も意義がある。日頃錬磨した技量を十二分に発揮して悔いのない大会にして欲しい。そして、それらはやがて人生の励みとなり、青春の思い出としていつまでも心に残っていくことだろう。

参加校の健闘を祈る次第である。

(編集委員・川上)

昭和58年度全国高校総体各都道府県予選記録

（7月4日までに日本協会到着分）

◇山形県予選

（6月3～5日）

＜男子＞

▽予選リーグ

○Aブロック

①真室川②新庄工③山形工

○Bブロック

①寒河江②大石田③東根工

▽決勝リーグ

大石田 16－15 真室川
寒河江 18－18 新庄工
真室川 27－11 寒河江
大石田 26－10 新庄工
寒河江 17－16 大石田
真室川 24－13 新庄工

（順位）①大石田②真室川③寒河江④新庄工

＜女子＞

▽決勝リーグ

米沢女 22－2 竹田女
日大山形 9－7 米沢女
日大山形 13－5 竹田女

（順位）①日大山形②米沢女③竹田女

◇三重県予選

（5月28、29、30日）

＜男子＞

▽1回戦

桑名西 29－7 朝明
海星 38－2 津西
日生第二 33－5 津東
四日市 15－7 高田
四日市中央工 23－4 津
四日市南 27－13 桑名工
津工 13－12 亀山

▽2回戦

四日市工 34－2 桑名西
尾鷲 26－10 海星
桑名 25－6 日生第二
四日市 18－12 桑名北
四日市西 16－11 四日市中央工
四日市南 17－13 津工

▽3回戦

四日市工 26－10 尾鷲
桑名 34－10 四日市
四日市西 29－17 四日市南

▽7～9位決定戦

海星 23－9 桑名西
日生第二 26－6 桑名北
津工 18－16 四日市中央工

▽4～6位決定戦

尾鷲 16－10 四日市南
尾鷲 21－10 四日市
四日市南 20－13 四日市

▽1～3位定戦決

桑名 21（11－8、10－6）14 四日市西
四日市工 23（12－5、11－6）11 四日市西
四日市工 12（4－6、8－5）11 桑名

＜女子＞

▽1回戦

亀山 20－3 桑名
上野 14－3 四日市南
松阪女 キケン 朝明

▽2回戦

暁 22－3 亀山
四日市 13－4 津
四日市商 8－6 上野
四日市西 18－5 津西
津東 38－3 松阪女
尾鷲 20－3 桑名北

▽3回戦

暁 32－1 四日市
四日市商 17－7 四日市西
津東 10－7 尾鷲

▽7～9位決定戦

亀山 23－3 津
上野 29－3 津西
桑名北 キケン 松阪女

▽4～6位決定戦

四日市西 18－13 四日市
尾鷲 13－6 四日市西
尾鷲 20－5 四日市

▽1～3位決定戦

暁 14（9－2、5－1）3 津東
暁 10（6－1、4－5）6 四日市商
四日市商 8（3－1、5－2）3 津東

◇岩手県予選

（6月4～6日）

＜男子＞

▽1回戦

一関一 24－14 福岡工
岩手 20－11 福岡
久慈 20－16 岩手橘

▽2回戦

花巻北 28－9 一関工
大迫 26－7 一関一
盛岡商 31－7 一戸
盛岡一 23－19 水沢
宮古 27－17 岩手
釜石南 20－17 盛岡三
生活学園 15－11 花巻農
盛岡四 40－4 久慈

▽準々決勝

花巻北 30－12 大迫
盛岡一 27－11 盛岡商
宮古 17－11 釜石南
盛岡四 26－16 生活学園

▽準決勝

花巻北 22－13 盛岡一
盛岡四 19－15 宮古

▽決勝

花巻北 20（9－12、11－5）17 盛岡四

＜女子＞

▽1回戦

釜石南 14－1 向中野学園
釜石商 21－7 岩手女

▽2回戦

盛岡二 18－3 釜石南
黒沢尻南 17－0 大原商
平舘 25－5 水沢
花巻南 10－6 一戸
宮古 27－3 生活学園
盛岡三 11－4 花巻農
盛岡白百合 14－5 久慈山形分
花巻北 19－4 釜石商

▽準々決勝

盛岡二 16－3 黒沢尻南
花巻南 14－9 平舘
盛岡三 5－4 宮古
花巻北 13－3 盛岡白百合

▽準決勝

盛岡二 10－7 花巻南
花巻北 14－3 盛岡三

▽決勝

花巻北 10（4－3、6－3）6 盛岡二

◇富山県予選

（6月4、5日）

＜男子＞

▽1回戦

高岡商 22－13 二上工
高岡 27－12 大沢野工

▽2回戦
氷見 21－9 高岡商
雄山 28－8 新湊
富山東 10－9 高岡南
八尾 21－13 小杉
富山商 28－9 富山工
富山中 22－11 伏木
富山南 24－7 富山
高岡向陵 26－16 高岡

▽3回戦
氷見 33－5 雄山
八尾 21－4 富山東
富山商 16－13 富山中
高岡向陵 21－13 富山南

▽準決勝
氷見 29－12 八尾
高岡向陵 31－17 富山商

▽3位決定戦
八尾 24－24 富山商（PTC 3－2）

▽決勝
氷見 15（6－5、9－6）11 高岡向陵

＜女子＞
▽1回戦
高岡向陵 20－0 富山女
富山女短 15－6 高岡
高岡第一 13－8 雄山
有磯 12－7 小杉

▽2回戦
高岡向陵 8－7 高岡商
高岡女 13－11 富山女短
新湊 8－4 高岡第一
有磯 17－5 富山北

▽準決勝
高岡向陵 14－4 高岡女
有磯 14－1 新湊

▽3位決定戦
高岡女 16－6 新湊

▽決勝
高岡向陵 14（7－7、7－6）13 有磯

◇和歌山県予選

（6月4～6日）

＜男子＞
▽1回戦
市和歌山商 35－14 海南
那賀 42－4 紀北工
桐蔭 17－13 新宮
箕島 36－6 和歌山東
御坊 22－19 耐久

▽2回戦
県和歌山商 25－14 市和歌山商
粉河 16－7 那賀
桐蔭 22－18 箕島
笠田 31－16 御坊

▽準決勝
県和歌山商 23－11 粉河
笠田 28－14 桐蔭

▽決勝
笠田 27（11－7、16－8）15 県和歌山商

＜女子＞
▽1回戦
新宮 9－7 御坊
笠田 21－10 貴志川
県和歌山商 13－10 那賀

▽準決勝
粉河 28－5 新宮
笠田 17－9 県和歌山商

▽決勝
粉河 18（8－0、10－2）2 笠田

◇岡山県予選

（6月4、5日）

＜男子＞
▽決勝リーグ進出決定戦
○Aブロック
天城 18－15 倉敷商
○Bブロック
西大寺 20－16 青陵
○Cブロック
倉敷工 22－14 邑久
○Dブロック
総社 21－17 一宮

▽決勝リーグ
天城 25－14 西大寺
天城 17－17 倉敷工
天城 18－16 総社
倉敷工 25－16 西大寺
倉敷工 19－17 総社
総社 18－15 西大寺

〔順位〕①天城②倉敷工③総社④西大寺

＜女子＞
▽決勝リーグ進出決定戦
○ア・ブロック
総社 22－4 落合
○イ・ブロック
西大寺 10－10 児島（PTC 3－0）
○ウ・ブロック
天城 32－7 倉敷南
○エ・ブロック
倉敷商 15－7 操山

▽決勝リーグ
総社 16－4 西大寺
総社 14－10 天城
総社 16－8 倉敷商
天城 15－6 西大寺
天城 19－14 倉敷商
倉敷商 11－9 西大寺

〔順位〕①総社②天城③倉敷商④西大寺

◇佐賀県予選

（6月4、5日）

＜男子＞
▽決勝リーグ
神埼 24－10 佐賀東
神埼 29－8 佐賀西
佐賀農 19－18 佐賀東
神埼 24－19 佐賀農
神埼 21－15 神埼農
神埼農 21－8 佐賀東
神埼農 17－7 佐賀西
神埼農 23－15 佐賀農
佐賀東 16－10 佐賀西
佐賀西 16－15 佐賀農

〔順位〕①神埼②神埼農③佐賀農④佐賀東⑤佐賀西

＜女子＞
▽決勝リーグ
神埼農 24－4 神埼
神埼農 17－8 佐賀女武雄
神埼農 17－5 佐賀東
神埼農 19－6 嬉野商
佐賀女武雄 15－5 佐賀東

佐賀女武雄 16－7 嬉野商
佐賀女武雄 15－10 神埼
嬉野商 18－12 佐賀東
神埼 13－9 嬉野商
佐賀東 11－10 神埼
〔順位〕①神埼農②佐賀女武雄③嬉野商④神埼⑤佐賀東

◇愛知県予選

◎東三河予選

（4月29日、5月1日）

＜男子＞

▽1回戦
新城東 24－15 新城
豊橋南 23－20 国府
豊橋東 21－18 蒲郡東
豊川工 25－9 桜丘
豊丘 19－12 豊橋商

▽2回戦
新城東 16－15 時習館
豊橋南 17－11 蒲郡
豊橋東 25－18 豊川工
豊橋工 20－11 豊丘

▽準決勝
豊橋南 20－19 新城東
豊橋東 27－24 豊橋工

▽決勝
豊橋南 24－18 豊橋東

＜女子＞

▽1回戦
蒲郡東 9－8 時習館
国府 10－9 新城東
宝陵 10－7 豊丘

▽2回戦
蒲郡 27－9 豊橋商
蒲郡東 18－5 新城
豊橋東 14－11 国府
宝陵 10－5 豊橋南

▽準決勝
蒲郡東 15－11 蒲郡
宝陵 14－4 豊橋東

▽決勝
宝陵 12－10 蒲郡東

◎西三河支部予選

＜男子＞

▽1回戦
豊田南 17－12 西尾
安城東 25－5 知立
衣台 17－12 豊田工
三好 23－7 一色
幸田 19－11 刈谷工
刈谷 16－12 西尾東

▽2回戦
岡崎城西 25－7 豊田南
碧南 20－12 碧南工
安城東 17－8 安城
岡崎 19－12 衣台
岡崎工 15－9 三好
岡崎東 17－14 幸田
刈谷北 18－13 愛教大附
岡崎北 25－15 刈谷

▽3回戦
岡崎城西 37－3 碧南
岡崎 14－13 安城東
岡崎工 12－11 岡崎東
岡崎北 30－10 刈谷北

▽準決勝
岡崎城西 33－13 岡崎
岡崎工 25－21 岡崎北

▽3位決定戦
岡崎 22－14 岡崎北

▽決勝
岡崎城西 27－10 岡崎工

＜女子＞

▽1回戦
岩津 29－1 豊田東
吉良 13－2 衣台
岡崎 29－1 高浜
幸田 15－7 安城
西尾東 15－11 碧南
西尾 35－2 知立

▽2回戦
三好 14－5 岩津
刈谷 8－7 刈谷北
吉良 15－6 岡崎商
安城学園 13－7 岡崎
岡崎東 31－8 幸田
西尾東 18－7 岡崎北
一色 18－7 愛教大附
西尾 18－4 豊田南

▽3回戦
三好 12－1 刈谷
吉良 13－12 安城学園
岡崎東 15－11 西尾東
西尾 36－1 一色

▽準決勝
三好 15－5 吉良
岡崎東 14－13 西尾

▽3位決定戦
西尾 12－9 吉良

▽決勝
三好 18－6 岡崎東

◎知多支部予選

（4月29、5月1日）

＜男子＞

▽1回戦
東海南 12－6 半田工
常滑北 24－17 半田農
東浦 23－7 大府

▽2回戦
半田東 41－4 知多
横須賀 17－9 東海南
武豊 23－14 常滑北
半田 35－8 東浦

▽準決勝
半田東 18－13 横須賀
半田 22－4 武豊

▽決勝
半田東 16－6 半田

＜女子＞

▽1回戦
東海商 18－11 大府
武豊 10－10 東海南
3 PTC 2
半田農 13－9 半田東
常滑北 15－4 阿久比
桃陵 15－3 横須賀
内海 16－6 知多

▽2回戦
半田商 14－5 東海商
武豊 20－11 半田農
席滑北 11－6 桃陵
半田 18－4 内海

▽準決勝
半田商 9－7 武豊
常滑北 6－6 半田
2 PTC 1

▽決勝
半田商 15－7 常滑

◎名南支部予選

（4月17、23、24日）
＜男子＞
▽1回戦
向陽 34－17 名商大附
緑 不戦勝 星城
東郷 25－19 日進
昭和 19－6 南陽
名市工 29－13 享栄
松蔭 20－16 富田
名城大附 31－7 鳴海
天白 20－18 中村
▽2回戦
桜台 37－15 向陽
緑 33－20 熱田
東郷 35－10 惟信
瑞陵 23－10 昭和
名南工 41－10 名市工
松蔭 17－13 豊明
名城大附 35－10 尾張
中京 23－18 天白
▽3回戦
桜台 36－16 緑
瑞陵 19－15 東郷
名南工 20－12 松蔭
中京 42－8 名城大附
▽準決勝
桜台 24－15 瑞陵
中京 24－13 名南工
▽3位決定戦
名南工 17－11 瑞陵
▽決勝
桜台 22－19 中京
＜女子＞
▽1回戦
天白 22－1 中村
向陽 13－8 緑
名女大 15－5 熱田
東郷 不戦勝 鳴海
豊明 21－2 富田
昭和 12－6 日進
▽2回戦
名短付 31－1 天白
中川商 11－4 向陽
南陽 11－6 瑞陵
名女大 17－4 惟信
若宮商 19－13 東郷
豊明 18－8 松蔭
高蔵 15－8 東海女
桜台 19－6 昭和
▽3回戦
名短付 25－2 中川商
南陽 13－7 名女大
若宮商 8－6 豊明
桜台 15－8 高蔵
▽準決勝
名短付 35－6 南陽
若宮商 7－5 桜台
▽3位決定戦
桜台 15－9 南陽
▽決勝
名短付 29－5 若宮商

◉名北支部予選
（4月17、24、29日）
＜男子＞
▽1回戦
名古屋北 24－12 瀬戸西
瀬戸 27－2 中工大付春日丘
名学院 21－16 東山工
長久手 18－12 千種
春日井東 15－10 明和
名古屋西 11－10 旭野
山田 14－9 東邦
▽2回戦
東海 20－13 名古屋北
高蔵寺 24－7 瀬戸
春日井 33－13 名学院
愛知 19－12 長久手
守山 22－8 春日井東
菊里 19－6 名古屋西
市工芸 14－14 愛知工 3 PTC 2
旭丘 20－5 山田
▽3回戦
東海 27－11 高蔵寺
愛知 20－14 春日井東
守山 23－9 菊里
旭丘 29－7 市工芸
▽準決勝
東海 26－13 愛知
旭丘 25－13 守山
▽3位決定戦
守山 21－19 愛知
▽決勝
旭丘 20－19 東海
＜女子＞
▽1回戦
西陵商 22－6 名古屋西
春日井 23－8 春日井商
高蔵寺 不戦勝 瀬戸西
旭野 34－3 名古屋北
名古屋商 15－7 長久手
▽2回戦
市邨 20－6 西陵商
春日井 12－10 瀬戸
千種 24－5 聖霊
愛知商 16－15 高蔵寺
旭野 24－8 菊里
淑徳 31－2 椙山
山田 16－11 中京女
緑丘商 23－8 名古屋商
▽3回戦
市邨 30－10 春日井
愛知商 25－7 千種
旭野 16－2 淑徳
緑丘商 24－7 山田
▽準決勝
市邨 22－7 愛知商
緑丘商 18－4 旭野
▽3位決定戦
旭野 6－5 愛知商
▽決勝
市邨 14－9 緑丘商

◉尾張支部予選
（4月24、29日）
＜男子＞
▽1回戦
丹羽 25－4 稲沢東
津島東 12－6 小牧南
犬山南 19－6 岩倉
西春 11－5 木曽川
佐織工 16－8 起工
小牧工 15－8 犬山
津島 8－7 尾西
尾北 24－3 稲沢
一宮工 20－10 五条
▽2回戦
一宮西 18－10 丹羽
平和 15－5 津島東
犬山南 29－7 西春
一宮北 29－4 佐織工
一宮 18－6 小牧工
津島 13－11 江南
一宮南 20－12 尾北
蟹江 30－14 一宮工
▽3回戦
一宮西 21－16 平和
犬山南 20－13 一宮北
一宮 23－2 津島
蟹江 24－10 一宮南
▽準決勝
一宮西 19－8 犬山南
蟹江 11－8 一宮
▽3位決定戦
犬山南 11－8 一宮
▽決勝
一宮西 14－9 蟹江
＜女子＞
▽1回戦
一宮北 29－2 五条
西春 15－4 小牧南
稲沢東 16－2 一宮
蟹江 31－5 津島女
古知野 9－5 津島東
▽2回戦
一宮商 23－8 一宮北
西春 11－3 江南
犬山南 19－11 一宮南
尾西 11－7 稲沢東
蟹江 16－12 岩倉
尾北 27－1 犬山
津島 8－7 一宮西
佐屋 21－1 古知野
▽3回戦
一宮商 15－6 西春

尾西 13-11 犬山南
蟹江 14-8 尾北
佐屋 22-3 津島

▽準決勝
一宮商 14-4 尾西
佐屋 18-4 蟹江

▽3位決定戦
尾西 9-8 蟹江

▽決勝
佐屋 12-8 一宮商

◉県予選
(5月8、14、15日)

<男子>

▽1回戦
岡崎城西 32-15 守山
蟹江 28-19 豊橋東
旭丘 25-13 岡崎
中京 30-13 豊橋南
名南工 22-17 一宮西
岡崎工 19-13 半田東
桜台 24-17 犬山南
東海 30-17 半田

▽2回戦
岡崎城西 25-14 蟹江
中京 23-11 旭丘
名南工 19-16 岡崎工
桜台 25-24 東海

▽決勝リーグ
岡崎城西 22-16 中京
桜台 26-9 名南工
岡崎城西 24-16 名南工
桜台 21-18 中京
岡崎城西 20-10 桜台
中京 19-18 名南工

(順位)①岡崎城西②桜台③中京④名南工

<女子>

▽1回戦
市邨 16-6 西尾
一宮商 16-13 若宮商
半田商 10-3 尾西
緑丘商 17-10 岡崎東
三好 20-2 常滑北
桜台 16-7 宝陵
名短付 16-8 旭野
佐屋 30-5 蒲郡東

▽2回戦
市邨 25-11 一宮商
緑丘商 20-9 半田商
三好 21-3 桜台
名短付 10-3 佐屋

▽決勝リーグ
市邨 21-7 緑丘商
名短付 18-5 三好
三好 18-17 市邨
名短付 21-7 緑丘商
名短付 19-14 市邨
三好 9-7 緑丘商

(順位)①名短付②三好③市邨④緑丘商

◇青森県予選

(6月11~13日)

<男子>

▽1回戦
青森南 28-14 弘前南
三本木 22-8 鰺ケ沢
青森 26-12 五所川原
柏木農 36-12 十和田工
青森東 30-9 野辺地横浜分

▽2回戦
青森商 31-9 青森南
三本木 15-11 青森
野辺地 28-13 柏木農
青森東 23-17 七戸

▽準決勝
青森商 33-15 三本木
野辺地 20-11 青森東

▽決勝
青森商 21 (12-6, 9-8) 14 野辺地

<女子>

▽1回戦
青森商 20-5 三本木
青森中央 17-14 七戸
野辺地 15-8 青森東

▽準決勝
青森西 15-10 青森商
青森中央 9-7 野辺地

▽決勝
青森西 12 (7-5, 5-6) 11 青森中央

◇秋田県予選

(6月10~12日)

<男子>

▽予選Aリーグ
湯沢 24-12 横手
湯沢 23-8 羽後
羽後 20-12 横手

▽予選Bリーグ
大曲農 20-9 湯沢稲川分
大曲 36-3 秋田南
大曲農 39-11 秋田南
大曲 26-11 湯沢稲川分
大曲 17-16 大曲農
湯沢稲川分 19-12 秋田南

▽決勝トーナメント1回戦
湯沢 25-11 大曲農
羽後 21-20 大曲

▽決勝
湯沢 30 (16-4, 14-7) 11 羽後

<女子>

▽予選Aリーグ
和洋 26-2 大曲
横手東 8-6 大曲
和洋 23-7 横手東

▽予選Bリーグ
大曲農 20-3 湯沢

▽決勝トーナメント1回戦
和洋 12-8 湯沢
大曲農 17-9 横手東

▽決勝
大曲農 11 (4-3, 7-5) 8 和洋

◇石川県予選

(6月2~5日)

<男子>

▽1回戦
星稜 31-11 宝達

▽2回戦
小松 29-10 星稜
向陽 27-20 二水
小松商 32-14 錦丘
明峰 38-12 寺井
県工 35-9 松任
松陵工 34-9 金沢商
泉丘 11-10 金沢市工
小松工 38-14 羽咋

▽3回戦
小松 26-14 向陽
小松商 20-18 明峰
県工 32-17 松陵工
小松工 28-5 泉丘

▽準決勝
小松 27-17 小松商
小松工 22-11 県工

▽決勝
小松工 18-11 小松

<女子>

▽1回戦
短大高 34-2 松任
金沢商 10-2 星稜
小松商 19-1 明峰

▽準決勝
小松市女 39-2 短大高
小松商 29-2 金沢商

▽決勝
小松商 11 (4-4, 6-6, 1-0, 0-0) 10 小松市女

◇香川県予選

(6月4、5日)

<男子>

▽1回戦
高松 9-8 三本松
多度津工 19-14 藤井
高松工芸 26-11 高松一
高松西 18-6 寒川

▽2回戦
丸亀 19－8 高松
高松商 21－8 多度津工
坂出工 24－10 高松工芸
高松南 30－10 高松西

▽決勝リーグ
丸亀 13－12 高松商
坂出工 14－5 高松南
坂出工 20－10 丸亀
高松南 18－14 高松商
高松商 11－11 丸亀
坂出工 15－14 高松商

（順位）①坂出工②高松南③丸亀④高松商

＜女子＞

▽1回戦
高松西 11－9 高松中央

▽2回戦
高松 26－6 高松西
三木松 14－6 丸亀
高松一 15－8 高松東
高松南 11－7 高松商

▽準決勝
高松 18－7 三本松
高松南 17－6 高松一

▽決勝
高松 11（6－2、5－1）8 高松南

◇福井県予選

（6月4、5、6日）

＜男子＞

▽予選リーグ
北陸 30－6 羽水
北陸 25－12 武生
金津 28－5 丹南
高志 38－4 勝山
高志 25－6 丹南
金津 40－3 勝山
福井商 19－11 科学技術
藤島 16－9 福井商
羽水 17－9 武生
高志 13－12 金津
勝山 16－13 丹南
藤島 25－10 科学技術

▽決勝トーナメント1回戦
金津 30－3 福井商
高志 16－14 羽水

▽準決勝
北陸 19－9 金津
高志 22－12 藤島

▽決勝
北陸 26（14－10、12－5）15 高志

＜女子＞

▽予選リーグ
仁愛 11－5 羽水
仁愛 11－3 北陸
高志 13－7 藤島
福井女 6－1 科学技術
福井商 25－1 福井女
武生商 12－5 藤島
北陸 14－5 羽水
武生商 10－9 高志
福井商 33－5 科学技術

▽決勝トーナメント1回戦
高志 15－1 福井女
北陸 9－6 武生商

▽準決勝
仁愛 15－0 高志
福井商 12－6 北陸

▽決勝
仁愛 15（5－2、10－1）3 福井商

◇京都府予選

（6月4、5、12、14、18、19日）

＜男子＞

▽1回戦
大谷 24－16 堀川
城陽 42－8 宇治
乙訓 16－12 桂
洛水 24－11 平安
西宇治 28－15 塔南
桃山 29－9 田辺
嵯峨野 21－12 城南
鴨沂 21－15 洛東
伏見工 20－13 日吉ケ丘
洛北 19－17 洛陽工
北嵯峨 33－11 同志社

▽2回戦
向陽 16－14 大谷
乙訓 14－12 城陽
洛水 19－11 京都商
西宇治 19－17 洛星
東宇治 30－11 桃山
嵯峨野 19－14 鴨沂
伏見工 15－11 洛北
東山 22－11 北嵯峨

▽準々決勝
乙訓 21－11 向陽
洛水 16－13 西宇治
東宇治 16－14 嵯峨野
東山 21－6 伏見工

▽準決勝
乙訓 16－13 洛水
東山 17－14 東宇治

▽3位決定戦
東宇治 29－17 洛水

▽決勝
東山 27（14－4、13－2）6 乙訓

＜女子＞

▽1回戦
久御山 17－6 京都商
西京商 11－1 洛北
北嵯峨 10－2 日吉ケ丘
光華 13－12 西山
城陽 11－2 桂
塔南 26－6 洛東
西宇治 16－9 精華
京都女 12－0 鴨沂
洛水 15－3 桃山
明徳商 18－12 城南

▽2回戦
東稜 11－9 久御山
光華 11－8 嵯峨野
向陽 17－3 城陽
塔南 15－9 乙訓
西宇治 17－4 田辺
京都女 13－11 洛水
東宇治 24－13 明徳商
西京商 12－3 北嵯峨

▽準決勝
西京商 16－15 東稜
向陽 9－7 光華
塔南 21－6 西宇治
東宇治 18－10 京都女

▽準決勝
向陽 5－2 西京商

▽決勝
東宇治 19－12 塔南
東宇治 8（5－3、3－4）7 向陽

◇群馬県予選

（6月12、19日）

〈男子〉

▽1回戦
前橋育英 14－9 藤岡

▽2回戦
下仁田 17－16 利根農
前橋 31－10 桐生工
吉井 23－15 前橋商
富岡 36－4 前橋育英

▽準決勝
富岡 33－12 下仁田
吉井 29－17 前橋

▽決勝
富岡 16（8－6、8－7）13 吉井

〈女子〉

▽1回戦
前橋商 12－6 前橋東商
桐生女 15－1 高崎女

▽2回戦
下仁田 12－2 桐生西
高崎市女 17－7 佐藤学園
吉井 19－4 前橋商
群女短大附 28－3 桐生女

▽準決勝
吉井 18－3 下仁田
群女短大附 13－7 高崎市女

▽決勝
吉井 15（7－1、8－3）4 群短大附女

◇鳥取県予選

（6月5、6日）

〈男子〉

▽1回戦
倉吉東 26－16 米子北
倉吉工 19－10 米子東
境港工 17－9 米子西

▽準決勝
境 27－7 倉吉東
境港工 19－16 倉吉工

▽3位決定戦
倉吉工 16－15 倉吉東

▽決勝
境 23（11－4、12－10）14 境港工

〈女子〉

▽1回戦
米子南商 18－8 倉吉西
倉吉産 13－5 米子西
境 21－3 米子東

▽準決勝
米子北 15－14 米子南商
境 16－6 倉吉産

▽3位決定戦
米子南商 11－7 倉吉産

▽決勝
境 13（8－1、5－3）4 米子北

◇愛媛県予選

（6月4～6日）

〈男子〉

▽1回戦
今治工 15－11 伊予

▽2回戦
新居浜工 45－6 今治工
松山工 33－8 新居浜東
松山南 14－11 宇和島南
松山西 27－9 松北中島
今治西 23－21 新田
松山商 26－10 新居浜商
吉田 16－10 今治南
松山北 25－14 松山東

▽3回戦
新居浜工 21－13 松山工
松山西 30－14 松山南
今治西 35－12 松山商
松山北 34－12 吉田

▽準決勝
松山西 17－14 新居浜工
松山北 22－19 今治西

▽決勝
松山北 24（17－4、7－12）16 松山西

〈女子〉

▽1回戦
三崎 18－7 松山西
東温 28－9 新居浜西
新居浜東 19－7 松北中島
今治北 25－6 伊予農
新居浜商 12－8 松山北
松山商 9－6 西条
弓削 23－5 土居
今治南 19－3 大島

▽2回戦
三崎 10－8 東温
今治北 22－2 新居浜東
新居浜商 22－1 松山商
今治南 21－2 弓削

▽準決勝
今治北 16－7 三崎
今治南 20－6 新居浜商

▽決勝
今治南 7（6－2、1－3）5 今治北

◇神奈川県予選

〈男子〉

○予選トーナメントAブロック

▽1回戦
県湘南 キケン 市川崎
県上溝南 28－8 県逗子
県平沼 18－12 鎌倉学園
県瀬谷 17－5 相工大附
県翠嵐 24－10 三浦
県岡津 19－19 市戸塚（PTC 4－3）
県大和 34－16 市桜ケ丘

▽2回戦
県多摩 25－10 県湘南
県平沼 22－19 県上溝南
県翠嵐 21－8 県瀬谷
県大和 36－20 県岡津

▽準決勝
県多摩 32－7 県平沼
県翠嵐 26－21 県大和

▽決勝
県多摩 20－13 県翠嵐

○予選トーナメントBブロック

▽1回戦
県西湘 20－11 県清水ケ丘
県日野 21－4 県磯子
県平塚江南 24－15 県川崎
関東学院 36－8 県厚木商
県希望ケ丘 13－8 県秦野
県百合ケ丘 28－8 県磯子工
県上鶴間 23－13 県大清水

▽2回戦
県生田 20－13 県西湘
県日野 11－9 県平塚江南
関東学院 30－9 県希望ケ丘
県百合ケ丘 21－12 県上鶴間

▽準決勝
県生田 17－14 県日野
関東学院 27－9 県百合ケ丘

▽決勝
県生田 23－17 関東学院

○予選トーナメントCブロック

▽1回戦
県藤沢西 23－9 科学技術学園
県相模原 21－9 横浜商大
県橋本 21－10 桐光学園
県和泉 33－7 県相武台
県茅ケ崎北陵 23－7 県相模台工
県七里ケ浜 18－9 県神田
県五領ケ台 19－9 県港北

▽2回戦
県川崎北 17－11 県藤沢西
県橋本 19－14 県相模原
県和泉 19－18 県茅ケ崎北陵
県五領ケ台 22－13 県七里ケ浜

▽準決勝
県川崎北 23－14 県橋本
県和泉 19－16 県五領ケ台

▽決勝
県川崎北 23－10 県和泉

⊙予選トーナメントDブロック

▽1回戦
桐蔭学園 25－9 県茅ケ崎

県城山 不明 浅野
県柿生 27－8 県麻溝台
市南 23－12 市東
県湘南通信 32－12 県商工
県座間 29－7 県霧ケ丘
県藤沢北 26－1 県有馬
慶応 21－9 県鎌倉

▽2回戦
県城山 3 P14－14 TC 2 桐蔭学園
市南 24－14 県柿生
県座間 18－12 県湘南通信
慶応 34－10 県藤沢北

▽準決勝
県城山 28－21 市南
慶応 13－12 県座間

▽決勝
慶応 32－18 県城山

○予選トーナメントEブロック

▽1回戦
県富岡 25－11 県厚木東
県生田東 20－13 県松陽
県立野 25－11 県神奈川工
県大和南 13－11 県柏陽
市川崎工 16－8 県大沢
県鶴嶺 29－21 県光陵
県新城 24－9 松田
横須賀学院 19－17 県金井

▽2回戦
県富岡 22－19 県生田東
県大和南 24－8 県立野
市川崎工 22－12 県鶴嶺
横須賀学院 27－15 県新城

▽準決勝
県大和南 18－12 県富岡
市川崎工 23－18 横須賀学院

▽決勝
県大和南 14－13 市川崎工

○決勝トーナメント

▽1回戦
法政二 14－12 県多摩
県生田 24－13 県川崎北
県川和 19－12 慶応
横浜商工 24－12 県大和南

▽準決勝
法政二 23－10 県生田
横浜商工 21－15 県川和

▽決勝
横浜商工 20（11－6、9－6）12 法政二

＜女子＞

○予選トーナメントAブロック

▽1回戦
県城山 24－0 県大津
県富岡 18－2 関東学院
県多摩 8－6 県瀬谷
県百合ケ丘 19－6 高木女商

▽2回戦
県城山 12－10 県生田
県富岡 9－7 市南
県多摩 7－4 市戸塚
県百合ケ丘 10－8 横須賀学院

▽準決勝
県城山 9－8 県富岡
県百合ケ丘 8－3 県多摩

▽決勝
県百合ケ丘 11－9 県城山

○予選トーナメントBブロック

▽1回戦
県相模原 22－2 県大和
県座間 12－4 県五領ケ台
県港北 13－4 京浜女商
県川和 16－4 京浜横浜

▽2回戦
県川崎北 9－6 県相模原
県座間 23－2 県有馬
県藤沢西 21－4 県港北
県川和 14－9 県鶴嶺

▽準決勝
県川崎北 19－3 県座間
県藤沢西 13－5 県川和

▽決勝
県藤沢西 13－6 県川崎北

○予選トーナメントCブロック

▽1回戦
県厚木商 7－6 県綾瀬
県商工 23－9 県岡津
県上溝 16－14 県霧ケ丘
市東 9－2 県茅ケ崎北陵

▽2回戦
県和泉 21－5 県厚木商
県商工 14－10 県高浜
県相武台 14－11 県上溝
市東 16－3 県秦野

▽準決勝
県和泉 16－5 県商工
県相武台 6－5 市東

▽決勝
県和泉 19－2 県相武台

○予選トーナメントDブロック

▽1回戦
県上鶴間 24－2 県川崎
県七里ケ浜 16－7 県大沢
県生田東 18－4 県希望ケ丘
市桜ケ丘 9－7 県平塚江南

▽2回戦
県松陽 9－8 県上鶴間
県七里ケ浜 28－2 松田
県大和南 19－12 県生田東
市桜ケ丘 15－8 県厚木東

▽準決勝
県松陽 23－3 県七里ケ浜
市桜ケ丘 11－9 県大和南

▽決勝
県松陽 16－5 市桜ケ丘

○予選トーナメントEブロック

▽1回戦
県日野 10－0 市川崎
県橋本 13－0 県清水ケ丘
県立野 16－1 北鎌倉

▽2回戦
成美 13－4 県日野
県橋本 13－9 県逗子
県上溝南 12－3 県平沼
県立野 7－6 県翠嵐

▽準決勝
成美 14－9 県橋本
県上溝南 5－4 県立野

▽決勝
成美 22－15 県上溝南

○決勝トーナメント

▽1回戦
明倫 23－9 県百合ケ丘
県和泉 20－4 県藤沢西
市高津 21－19 県松陽
県金井 14－10 成美

▽準決勝
明倫 12－10 県和泉
県金井 14－11 市高津

▽決勝
明倫 22（10－4、12－8）12 県金井

◇福岡県予選

（6月4、5日）

＜男子＞

▽1回戦
久工大附 24－7 新宮
西陵 12－11 福岡工
福岡 8－7 西南
香椎 12－7 小倉西
九州産 26－10 田川工
明善 13－10 小倉工
春日 15－7 若松
東海大五 23－10 糸島

▽2回戦
久工大附 27－6 西陵
小倉西 17－8 福岡
九州産 20－10 明善
東海大五 26－7 春日

▽準決勝
久工大附 23－9 小倉西
九州産 20－17 東海大五

▽決勝
久留米工大附 33（20－3、13－9）12 九州産

＜女子＞

▽1回戦
九州女 20－9 春日
新宮 9－6 若松

▽2回戦
筑紫女 12－7 九州女
筑紫中央 21－5 浮羽
東海大五 16－8 福岡
香椎 20－7 新宮

▽準決勝
筑紫女 12－5 筑紫中央
香椎 11－9 東海大五
▽決勝
筑紫女 15（7－3、8－3）6 香椎

◇茨城県予選

（6月18、19日）
〈男子〉
▽1回戦
岩井 26－3 緑岡
麻生 37－7 水戸一
土浦三 22－13 下館一
八郷 23－18 土浦工
笠間 27－15 太田一
古河三 19－18 岩井西
勝田 10－8 土浦一
水海道一 17－16 藤代
▽2回戦
岩井 31－16 麻生
八郷 30－10 土浦三
笠間 28－10 古河三
水海道一 28－16 勝田
▽準決勝
岩井 16－11 八郷
笠間 20－18 水海道一
▽決勝
岩井 19（9－6、10－9）15 笠間
〈女子〉
▽1回戦
水海道二 21－6 土浦二
結城二 17－6 岩井
鉾田二 16－6 水戸二
麻生 26－6 石岡二
岩井西 11－8 下妻二
太田二 9－6 日立二
竜ケ崎一 12－5 八郷
竜ケ崎二 9－6 汐来
▽2回戦
水海道二 21－5 結城二
麻生 16－12 鉾田二
太田二 23－5 岩井西
竜ケ崎二 10－7 竜ケ崎一
▽準決勝
水海道二 21－11 麻生
竜ケ崎二 13－8 太田二
▽決勝
水海道二 19（9－0、10－4）4 竜ケ崎二

◇東京都予選

〈男子〉
▽1回戦
江北 22－11 園芸
南 15－14 葛西南
本所 17－16 光丘
小金井北 23－13 八王子東
青山学院 20－12 青山
広尾 キケン 筑波大附
南葛飾 キケン 大泉学園
砂川 21－19 清瀬
小平西 17－15 片倉
筑波大駒場 30－12 農大一
練馬 キケン 墨田工
葛飾野 19－13 城北学園
昭和 25－15 北多摩
忠生 22－10 武蔵村山東
世田谷工 キケン 大崎
小岩 キケン 東
井草 21－8 向丘
富士森 13－12 三鷹
早大学院 23－7 成城
目黒 15－13 早実
荻窪 16－14 石神井
日野 25－15 野津田
江戸川 38－9 蒲田
日大二 21－14 水元
大泉北 キケン 両国
五商 24－16 日野台
拓大一 22－10 南部
新宿 24－13 雪谷
墨田川 34－2 駿台学園
大泉 18－13 武蔵丘
篠崎 14－4 鷺宮
国立 21－6 館
昭和一 23－16 八王子工
東京 15－9 武蔵工大附
修徳 14－13 明正
四谷商 20－16 深川
武蔵野北 キケン 永山
▽2回戦
南 15－8 江北
小石川工 41－2 本所
立川 25－13 小金井北
久留米 22－6 松ケ谷
広尾 15－13 青山学院
佼成 33－10 南葛飾
砂川 25－5 秋川
明星学園 22－12 小平西
筑波大駒場 キケン 練馬
葛飾野 31－2 杉並工
昭和 25－16 保谷
中大附 23－8 武蔵村山東
小岩 35－2 世田谷工
井草 16－6 駒大高
富士森 24－18 秋留台
東村山 28－15 武蔵
早大学 10－6 目黒
荻窪 キケン 白鴎
日野 キケン 羽村
清崎東 26－8 田無工
江戸川 29－9 日大二
杉並 24－6 大泉北
府中西 16－12 五商
拓大一 17－8 創価
新宿 25－15 墨田川
篠崎 18－13 大泉
福生 16－10 国立
錦城 29－9 昭和一
修徳 21－7 東京
西 23－18 四谷商
武蔵野北 21－13 東大和
国分寺 24－10 南多摩
▽3回戦
南 10－9 本所
立川 20－14 久留米
佼成 22－15 広尾
砂川 27－14 明星学園
葛飾野 23－15 筑波大駒場
中大附 28－10 昭和
小岩 13－12 井草
東村山 13－12 富士森
早大学 16－11 荻窪
日野 16－11 清瀬東
江戸川 13－5 杉並
府中西 18－14 拓大一
新宿 23－11 篠崎
錦城 21－15 福生
西 13－9 修徳
国分寺 20－18 武蔵野北
▽4回戦
立川 15－9 南
佼成 25－18 砂川
葛飾野 20－18 中大附
小岩 20－14 東村山
日野 13－10 早大学
江戸川 23－18 府中西
新宿 23－8 錦城
西 17－8 国分寺
▽5回戦
日体荏原 26－10 立川
府中東 17－13 佼成
神代 26－21 葛飾野
小岩 18－14 学大附
調布北 20－18 日野
江戸川 16－14 富士
新宿 24－13 府中
明星 37－11 西
▽6回戦
日体荏原 35－3 府中東
神代 26－14 小岩
調布北 22－15 江戸川
明星 27－11 新宿
▽決勝リーグ
日体荏原 39－10 調布北
明星 29－18 神代
日体荏原 31－15 神代
明星 35－15 調布北
神代 17－8 調布北
日体荏原 20－19 明星
〔順位〕①日体荏原②明星③神代④調布北
〈女子〉

▽1回戦
青山学院 5―2 石神井
拓大一 21―2 武蔵野北
目白学園 19―7 南
大泉 キケン 武蔵丘
篠崎 17―5 園芸
学大附 5―4 練馬
明正 12―5 鷺宮
墨田川 7―3 農大一
江戸川 19―5 大泉学園
雪谷 11―9 本所
府中東 キケン 清瀬
葛飾商 キケン 玉川

▽2回戦
調布北 9―8 武蔵野女
砂川 15―7 保谷
光丘 キケン 三商
江東商 6―3 青山学院
府中西 16―6 富士森
福生 14―13 拓大一
目白学園 キケン 永福
南葛飾 11―3 日大二
館 7―5 南野
日体桜華 19―2 日野台
富士 キケン 大泉
深川 10―9 篠崎
東大和 10―5 武蔵
国立 キケン 南多摩
学大附 8―3 大泉北
豊多摩 10―8 小岩
西 12―4 葛飾野
明正 13―4 家政大附
昭和 11―5 共立女
東村山 15―3 吉祥女
墨田川 13―10 四谷商
江戸川 13―5 杉並
府中 15―8 八王子東
小金井北 13―8 小平
井草 10―9 雪谷
白鷗 7―3 関東女
府中東 11―7 二商
小平西 16―14 羽村
菊華 17―3 葛飾商
立教女 7―6 日黒
五商 13―7 日野
武蔵村山東 16―5 清瀬東

▽3回戦
砂川 13―5 調布北
江東商 20―4 光丘
府中西 11―5 福生
目白学園 8―5 南葛飾
日体桜華 27―4 館
深川 5―3 富士
東大和 9―1 国立
豊多摩 4―3 学大附
西 9―4 明正
東村山 9―6 昭和
江戸川 15―6 墨田川
小金井北 11―10 府中
井草 17―8 白鷗
府中東 18―2 小平西
立教女 10―8 菊華
五商 14―4 武蔵村山東

▽4回戦
江東商 14―12 砂川
府中西 16―5 目白学園
日体桜華 17―8 深川
東大和 18―2 豊多摩
西 13―8 東村山
江戸川 9―8 府中
府中東 9―7 井草
五商 13―7 立教女

▽5回戦
藤村女 23―8 江東商
府中西 11―8 国分寺
日体桜華 9―8 広尾
明星学園 14―8 東大和
桜水商 12―5 西
桐朋女 12―10 江戸川
神代 14―4 府中東
佼成女 23―4 五商

▽6回戦
藤村女 20―5 府中西
明星学園 15―8 日体桜華
桜水商 18―17 桐朋女
佼成女 12―8 神代

▽決勝リーグ
藤村女 19―4 明星学園
佼成女 16―14 桜水商
藤村女 17―7 桜水商
佼成女 11―6 明星学園
明星学園 10―10 桜水商
藤村女 14―11 佼成女
（順位）①藤村女②佼成女③桜水商④明星学園

◇関東高校選手権

（6月4～6日）

＜男子＞

▽1回戦
明星 34―14 我孫子
石橋 19―16 前橋
川口工 27―15 調布北
佐原 15―13 機山工
川和 3 14―14 PTC 2 船橋旭
甲陵 18―16 小山南
横浜商工 29―16 笠間
浦和実 25―15 前橋商
市川 18―8 水海道一

▽2回戦
明星 22―16 川口北
法政二 24―13 石橋
富岡 20―15 川口工
岩井 18―15 佐原
川和 16―14 国学院栃木
日体荏原 24―14 甲陵
横浜商工 25―9 甲府一
浦和実 18―9 市川

▽準々決勝
明星 22―18 法政二
富岡 24―21 岩井
日体荏原 21―14 川和
浦和実 24―19 横浜商工

▽準決勝
明星 18（10―6 8―7）13 富岡
浦和実 24（12―6 12―13）19 横浜商工

▽決勝
浦和実 20（9―7 11―9）16 明星

＜女子＞

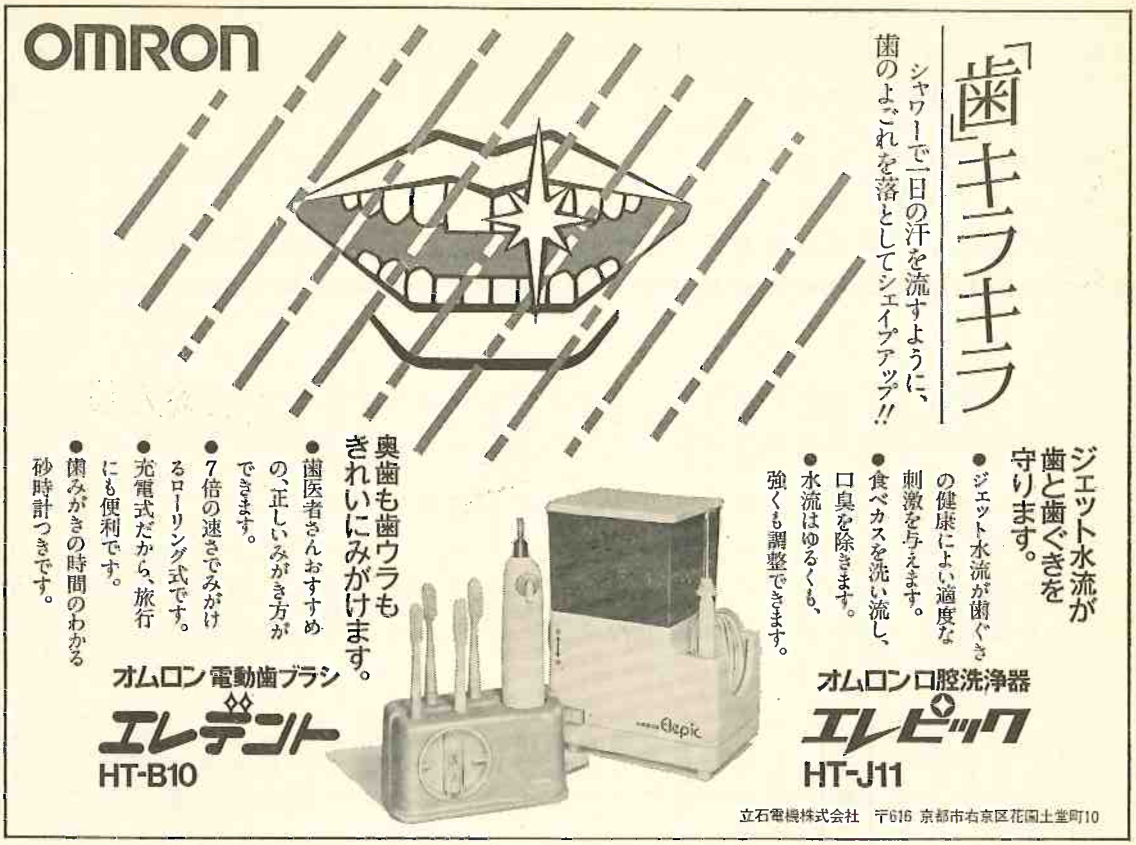
▽1回戦
山梨 10―7 流山中央
国学院栃木 27―9 高崎市女
栃木商 15―13 龍崎二
群女短大附 12―6 吉田
和洋女 14―12 桜水商
行田女 14―10 市高津
佼成女 20―10 金井
羽生一 17―2 佐原
栃木女 20―3 下妻二

▽2回戦
川口北 17―13 山梨
明倫 13―11 国学院栃木
昭和学院 17―5 栃木商
藤村女 12―11 群女短大附
水海道二 14―6 和洋女
吉井 15―7 行田女
日川 11―10 佼成女
栃木女 15―7 羽生一

▽準々決勝
明倫 12―9 川口北
昭和学院 16―4 藤村女
吉井 8―7 水海道二
栃木女 10―3 日川

▽準決勝
昭和学院 14（7―4 7―4）8 明倫
栃木女 16（9―6 7―8）14 吉井

▽決勝
昭和学院 15（7―4 8―5）9 栃木女


OMRON
「歯」キラキラ
シャワーで一日の汗を流すように、
歯のよごれを落としてシェイプアップ!!
ジェット水流が歯と歯ぐきを守ります。
●ジェット水流が歯ぐきの健康によい適度な刺激を与えます。
●食べカスを洗い流し、口臭を除きます。
●水流はゆるくも、強くも調整できます。
奥歯も歯ウラもきれいにみがけます。
●歯医者さんおすすめの、正しいみがき方ができます。
●7倍の速さでみがけるローリング式です。
●充電式だから、旅行にも便利です。
●歯みがきの時間のわかる砂時計つきです。
オムロン電動歯ブラシ
エレデント
HT-B10
オムロン口腔洗浄器
エレピック
HT-J11
Elepic
立石電機株式会社　〒616 京都市右京区花園土堂町10


molten
molten
JAPAN HAND BALL 検定 ASSOCIATION
official size weight
Selected raw-hide MTH3 Made in Japan
MT3　検定球3号
●検定球●天然皮革
ごらんください 独特のリブ形状とパネル間段差。この"32面体ノンスリップ構造"で確かな手がかりをつくりだしたモルテンハンドボールは、さらにナイロン糸巻構造をほどこし、すばらしい耐久性、真球性をも実現して、日本ではじめて国際ハンドボール連盟(I.H.F.)公認を獲得。ハンドボーラーの圧倒的な人気と信頼を集めています。
●日本ハンドボール協会検定球(J.H.A.)
●国際ハンドボール連盟公認球(I.H.F.)
モルテン
ハンドボール
「手がかり」が、見えた!
独自の32面体
ノンスリップ構造で、圧倒的人気を誇るモルテンハンドボール
モルテンゴム工業株式会社
本社　広島市西区横川新町1番8号〒733
☎(082)292-1381代

ジュニア女子世界選手権出場権を獲得して

やっとフランスへの道が開けた

監督・鈴木　義男

相手が台湾だけということもありますが、やっとフランスの本大会に出場の道が開けましたよ。

台湾には負けてたまるか、とする気持は十分持ち合せていましたが、入って来る周囲の声は負けるのではないかとか、ヨーロッパへ毎年遠征しているとか、ナショナルは弱いがジュニアは強化している等不安なニュースばかりでした台北へ入るまで相手チームの全貌どころか選手名すらわからなかったのですから……。ヨーロッパなど遠方や強豪チームならまだしも隣国で実力伯仲!!　それでどうしても勝たなければいけない相手に対してもその程度ですから。私たちの情報収集はスタートから手遅れです。

私たちは昨年から1週間の合宿を数回行って来ましたが、合宿の終り頃はまとまってくるのですが、散会して次の合宿に入るとまた始めからやり直しに近く、これでは何回行っても相変らずで困りましたが、今年の冬から10日間～15日間に伸ばしてみました。冬の暗い早朝から練習を入れたりして……。次元の低いことでも知れませんが、共通の苦しさ、楽しさが作りたくて、選手も毎日が必死でした。各選手の所属チームが良く協力してくれたと感謝しております。それと最終合宿にレギュラーである選手2～3名がケガ等で不参加になったのも誤算でした。

台北市に入ってからは、出来るだけ選手のリラックスを計りましたが、しかし第1戦は過度の緊張で何をしているのかわからない状態のゲームです。キャリアの少ない若い選手ですから、実力があっても環境が変ると何が起るか予測が出来ないのが現状です。外国の大観衆の前で初めての大会では、自分の実力が出せたのは何人いたでしょう。勝てると思ったのは第2戦の後半位ですから。

こういう経験をして、若い人たちが育っていくんだと急ろうと、我々責任は重大ですが楽しく思います。暗いニュースばかりだった女子界だけに、フランスで開かれる本大会へ出場出来る、それだけでもうれしく思います。これからが大変ですが、この選手たちをロサンゼルス、ソウル・オリンピックに出場出来る路線に乗せるには、今は1回でも多く経験を積ませてやりたい気持でいっぱいです。

最後に各選手の所属チームの先生や関係の皆様に、ご協力やお世話になったことを感謝しています。

ありがとうございました。

これから新たに戦いは始まる

キャプテン・秋成圭子

戦いが終わって勝利をかみしめた瞬間、私は、本当の戦いはこれから始まるんだと心の中で強く感じました。日本のハンドボール界は、現在とても厳しい状況におかれています。アジアの中で勝ち抜くことすらたいへん難しい状態です。韓国、中国と世界で良い成績を納めているチームもそろっていますし、この大きな壁を乗り越えてゆくには、たくさんの課題が与えられているはずです。

この大会を通じて、台湾のチームの平均年齢は17～18歳が多く、これから力をつけて強くなるチームだと思いました。日本も、勝ったとはいえ決して油断はできません。この大会での勝利は、一歩を踏み出したという感じに思えます。

これからまた新たに戦いは始まります。日本も、早く韓国、中国と対等に戦えるよう、今後ますます力をつけて、今までの屈辱を晴らす為にも一歩一歩大きく前進するのみです。

○○○海外トピックス○○○

グンメルスバッハが辛勝

～欧州ゴールデンカップ～

ヨーロッパ・カップの勝者とヨーロッパ・カップ・オブ・カップス（ウイナーズ・カップ）の勝者が対決する「第5回ヨーロッパ・ゴールデン・カップ」は、5月20日西ドイツのウエストハーレン・ホールで、VfL・グンメルスバッハ（西ドイツ・カップ）とスカ・ミンスク（ソ連・ウイナーズ）の初顔合せで行われた。

試合は、グンメルスバッハがヴンダーリッヒ、ブラント、クロコウスキー、DKティエル、ミンスクがカルシャケビッチ、シェフゾフ、ミクタらのナショナルプレーヤーを軸に、激しい攻防を展開、五千のファンを期待どおり熱狂させたが、グンメルスバッハは、前半のリードを巧みに生かし、追いすがるミンスクを1点差で突き放した。

再三のピンチを防いだGKティエルの好守が大きな勝因。

グンメルスバッハの王座は、第

VfL・グンメルスバッハ（西独） 17（8－5, 9－11）16 スカ・ミンスク（ソ連）

1回（一九七九）以来、4年ぶり2度目である。

ヴンダーリッヒ、スペインへ

二億五千万円の大金動く

西ドイツ連盟（DHB）監修の「週刊ハンドボール誌」5月20日号は、西ドイツ代表チームの主砲で、ヨーロッパ球界きってのスーパースター、エルハルト・ヴンダーリッヒ（26歳、204cm、90kg）が、西ドイツの名門VfL・グンメルスバッハから、スペインの強豪FC・バルセロナに、来シーズンから四年契約で移籍することになったと報じた。

激烈の度を強める有力クラブの選手争奪戦は、いまやシーズン・オフの各国では〝日常茶飯事〟だが、ヴンダーリッヒほどの超大物を、国境を越えて迎えるようなケースは初めてといってよく、関係者、ファンの間にセンセーショナルな話題を巻きおこしている。

しかも、この移籍には、驚くなかれ一百五十万西ドイツマルク（邦貨約二億五千万円）の移籍料（4年間）が支払われていることが明らかにされている。

FC・バルセロナは、世界的に有名なプロ・サッカーチームを表看板にしたクラブだが、ハンドボールチームは、もちろんアマチュア。

それでいて、これほどの巨額でスターを獲得するあたりの神経はまだまだ日本では、とうてい理解されまい。

韓国、イタリア破り3位

～カイロ・カップ～

エジプト協会の国際イベント「カイロ・カップ」（男子）は、4月初めカイロで行われ、アジアから韓国が遠征、3位となった。

参加したのは、韓国のほか、ポーランド、イタリア、地元エジプトで、世界3位のポーランドが、地力を示して3戦全勝、優勝を飾った。

注目の韓国は、緒戦でエジプトに前半リードしながら逆転負け、ポーランドには主導権を奪われ放しで完敗したが、イタリアには打撃戦の末快勝、貴重な1勝をあげた。

大会の優秀選手にはZ・ツルジンスキー（ポーランド）が選ばれた。

エジプト 31（11－14, 20－9）23 韓国

ポーランド 37－17 イタリア

エジプト 17－17 イタリア

ポーランド 39（21－10, 18－14）25 韓国

ポーランド 29－21 エジプト

韓国 32（16－11, 16－17）28 イタリア

〔順位〕①ポーランド②エジプト③韓国④イタリア

ソ連が貫録の全勝優勝

～東ドイツ女子国際～

ヨーロッパの女子大会として最高ランクといわれる第9回ニュウブランデンブルグ（東ドイツ）国際が強豪6カ国の参加によって行われ、世界の女王・ソ連が貫録を示し栄冠を握った。

ソ連は強敵とみられたハンガリーを24－17、東ドイツを27－20とほぼ一方的な経過で破るなど圧倒的な強味をみせ、特にジガンコーワ（172cm）、サフィナ（180cm）が二人で計50点を叩き出す活躍をみせた。

ロサンゼルス・オリンピック行きが、まだ決まっていない地元東ドイツは、エース、クルーガー（182cm）の強打などでハンガリーを22－15で破り、秋のオリンピック予選（代表1カ国）への期待を高めさせた。

このほかでは、デンマークが東ドイツ・ジュニアに21－19で勝ちポーランドに24－24で引き分けた健闘（4位）が目立った。

逆にポーランドは1分4敗で最下位とスランプから脱し切れないでいる。

〝新天地〟で張り切る名手

オリンピックや世界選手権で暴れまわり東欧の四大女王といわれた名手のうち、母国に残っているZ・ツルチーナ（ソ連）を除く三人が、いずれも〝新天地〟でホームクラブの優勝に貢献、話題となっている。

その一人はK・イレシュ（ユーゴ）。いわずと知れた日本の立石電機の大黒柱。昨シーズンから東洋の強豪の一員となり日本リーグ、全日本総合二冠の原動力、今シーズンも、5月の全日本実業団で、衰えぬ力を示している。

一九七八年の世界選手権得点王M・フォルチノーバ（チェコ）は、結婚してオーストリア国籍をとり、名門ヒポ銀行HC連勝の主役となるほか、ついに昨秋からナショナルチームにもノミネートをうけ、国際舞台にカムバックした。

チェコ時代、二、三人のマークを引きずりながら強打したパワーは健在のようで、今秋のオリンピック予選が注目される。

昨冬、世界選手権終幕と同時にデンマークのヘルシンゴIFに迎えられたステルビンスキー（ハンガリー）は、全国リーグでこそ首位を逃したが、デンマークカップでは、みごとに同クラブを優勝に導き、目の肥えたデンマークファンを唸らせている。＜杉山　茂＞

第1回国際審判員研修会報告

（3月26日～27日・名古屋市愛知県体育館会議室）

◇出席者

審判部長　岡前
国際審判員OB　狩野、光島
国際審判員　斎藤、千野、佐分、北井、三枝、島崎、井上、清水、岡本、福田、後藤、島田、森、川島

司会　岡前義春

1　今後の国際審判員の活動について

○国際審判員の海外研修……58年度は1ペア派遣の予算を確保

○光島氏を5月西ドイツでのトレーナー・レフェリー・シンポジウムへ派遣

○研修会の予算の確保について

○アジア大会の報告

○IHFのシンポジウムについて（光島氏）

○国際審判員のあり方（狩野氏）
国際審判員は他のレフェリーの模範となれ。ルールについて統一見解をもて。

2　自由討論

岡前　第1回の研修会ですのでそれぞれ皆さんの考え方を聞きたいと思いますので、一人ずつお願いします。この様に皆さんが熱心に集まっていただけるということは、これからの日本のハンドボール、あるいは審判技術の向上に何らかのアドバイスをしていただくために、腹蔵無い意見をお聞かせ下さい。

佐分　アジア大会での感想—審判ルールの認識の差、段階的適応とは何か。国際試合でのゲームの管理（ベンチの管理）のむずかしさ。研修会のあり方については、研修会は一つのテーマを持って開けば良いのではないか。

三枝　レフェリングの問題点として、反則をとろうと意識すると笛がおかしくなる。

新井　研修会のスケジュールを明確にしてほしい。

岡前　第1回目なので、今回は特別のスケジュールは組んでいない。どの様に行なうかは、皆さんの感想を聞いて今後の問題と共に決定したい。

斉藤　これからの研修のあり方。国内での国際試合の場に国際審判員の姿が少ない。国々の積極的な研修と共に海外派遣者の意見を開く集団的な研修を持つ。

島崎　語学研修の必要性を感じる。国際審判員の名に恥じないようなレフェリングに努めたい。

井上　試合の運営、試合の管理上の疑問点について。

清水　一つのルールにおいての審判間の認識の違いについて、講習会の講師においての公と私の立場について。

福田　語学の必要性を感じる。これはパネルAの条件である。英語以外にももう一つの外国語をマスターすべきである。試合の管理について。フィルムを使っての意見統一の必要性。

岡本　研修会を持つことは有意義である。交流を通して意見の統一ができる。世界の笛と日本の笛に差があるのか？　クリーンハンドボールとは何なのか。

後藤　国際審判員の名に恥じぬ様に努力する。選手のためにレフェリングとはどの様なものなのか。審判員研修のための国際審判員のペアの交換。

光島　視覚教材についてはIHFで作成している。今年度のシンポジュームで販売するので入手する。

岡前　何度かVTRにて視覚教材の作成を試みたが、今の段階では出来ばえはあまり良くない。今後も努力してゆく。

光島　私の個人の意見では、ペアに流動性を持たせる事は賛成である。国際試合は別であるが、国内の試合では良いのではないか。

北井　ペアの交換によってペアが合わない等のエアポケットが出来たら選手は納得しないのではないか。

光島　本番の試合で直接行なうというのではない。実験段階を踏まえた上の事である。

岡前　ペアの交換についてはいろいろ問題がある。それについては私自身にも考え方はあるが……また、皆の意見を聞きたいと思っている。誰でもかまわずペアを変えるという考え方は私は持っていない。

後藤　研修的な意味でペアの交流を行なえば、隠れていた問題点も出て来るのではないか。

北井　研修対象のゲームではプラスになるが、実際の公式試合では問題ではないか。

岡前　現在の時点では、公式の試合でペアを変えるという考えはない。

北井　レフェリングにおいて重要な事とは、①レフェリングにおける判定基準の一貫性（そのゲームを通して判定の基準が明確で、しかも基準のずれが極力少ない事がより重要である）②レフェリング態度の丁寧さ（こまめさ）について（レフェリングの態度に丁寧

さ（こまめさ）があるとないとでは、信頼感を得る上で大きな違いを生じる結果になる。気配りが欠けていると丁寧さは出てこない）③プレー継続についての予測の技術（センス）（吹笛によって生じる不利益を考える技術（センス）をみがかなければならない）④ルールの理念とハンドボールの特性の熟知⑤審判終了後の反省（ルールの適用面からみて。二人のコンビの度合いからみて。両チームのベンチ（監督、コーチ）の心情面にたって。両チームのプレーヤーの立場から。観衆の状況から等。以上の観点から公平さ？　クールさ？　ルールの適用の可否は？　客観性の度合い？　等を点検すると同時に必ず次の機会に修正する気持ちを持ちつづけ、その場かぎりで終らせない）⑥ハンドボール審判の意義（レフェリーは舞台裏で黙々と演出を助けて、それでいながら舞台を盛り上げる重要な役割りを果たす黒子のような存在ではあるまいか。

千野　この様な研修会は大変有意義である。近年審判員が大変熱心になってきている。レフェリー間の熱意、研究心が向上している事は、ハンドボールの発展につながってゆくのではあるまいか。審判技術が向上するためには、たゆまぬ努力と反省をする謙虚な姿勢が必要である。

島田　ルールの適応のむずかしさを感じている。ハンドボールの特性を熟知していないと判定の基準が明確でなくなる。国際審判員となり責任を感じている。

岡前　国内のレフェリーの中心になるのが国際審判員である。国際審判員の技術向上と意見の統一が必要である。統一見解を持って全国の指導をしてもらいたい。その点についても今後の研修会を役立てたい。

3　試合観戦

レフェリー　斉藤／井上、島崎／井上

4　質疑応答

光島　選手が試合中に眼鏡を落としていた。審判のチェックと指導が必要である。

岡前　必要があればゴムなどで止めさせる。

斉藤　接近プレー（プレスプレー）でのプッシングとチャージングの見きわめのむずかしさを感じた。

佐分　CR、GR、観衆との観点の違いを感じる。

岡本　千野、斉藤ペアは、任務の分担の領域を決めているのですか。

斉藤　具体的に領域に設定していない。

狩野　センター・レフェリーとゴール・レフェリーの任務の分担についてGRは笛を吹きすぎてはならない。カバーリングが必要な時だけ笛を吹けばよい。GRは1タイミングおくれて笛を吹くのが好ましい。

光島　死角を生ずる場合もあるので、明らかにCRの視野に入っている場合などGRは笛をおくらせる（CRが笛を吹けばGRは吹く必要はない）。

狩野　ゴールインの時のCRとGRのコンタクトは必ずすべきである。

岡前　ゼスチュアーは止って行なうのが基本だ。そしてすぐに次の行動に移ればよい。

北井　フリースローの時は必ずポイントに移動したほうがよい。笛の音だけに頼らずに動作でも示すべきだ。

佐分　カバーリングの方法を皆さんはどの様にしているのか。

千野　試合の流れの中で行なっているのではっきりしない。

岡前　お互いのコンビの中で約束事があるのではないか。一つはペアの中での話し合いがある。もう一つは、基本的には互いの領域があるが、その中で相手の見にくい領域については注意を払っておく。どちらかが見逃したと思われる場合は、一呼吸おくれてカバーする。

新井　試合中常々二人の審判がコンタクトを取っていればうまくゆくのではないか。

北井　カバーリングというのは確かにむずかしい。基本的にはレフェリーは助け合いである。カバーリングは必要であるが、同じような場面で何度もカバーされている様な事は避けなければならない。あまりカバーがすぎると越権行為となる。カバーが刺激となって相手が目が覚めたという気になればうまくゆく。

佐分　また、カバーをしたために逆に相手が萎縮してしまい、もっと悪い状態になってしまう場合もある。

福田　お互いペアのコンタクトが必要ではないか。

岡前　この点での問題点は、相手がカバーをしたからこんどは私がカバーをしてやろうという気持ちになったら、ペアとして崩れてしまう。カバーされたら逆に今度はカバーされないように動くという気持ちが重要である。

森　今日の試合では、GRがポストのスカイプレーの動きをよく見ていて適切な判定をしていたと思う。

岡前　ボールを持たない選手の動きを止める様なプレーはラフプレーである。たとえば、両手で相手をつかむ、ジャンプした選手を押すなどはラフなプレーである。そのラフなプレーに対しては厳し

く対処する。

森　今までだとディフェンス側の反則についての警告、退場は非常によくとっているが、オフェンス側の反則についてはフリースローにとどまってしまう場合が多かった。

岡前　今まではオフェンス有利とされていたが、オフェンスの時もディフェンスの時もボールに対してでないラフプレーは厳しくとるべきである。ハードプレーとラフプレーは違う。

島田　すき間の無い所へ攻撃側が割り込むプレーを斉藤、千野のペアをよく見極めていた。割り込みはチャージングであるが、ディフェンスが動いていて結果的にはチャージの形になる場合もあるので、レフェリーはよく見なければならない。

岡前　結果だけで形だけを見てチャージングの判定はできない。それ以前の動きをよく見て判定すべきである。

福田　パスをした後のプレーヤーの動きもよく見るべきだ。パスをしたのち相手のプレーヤーに当りにゆく選手もいる。

斉藤　チャージングの判定はむずかしい。結局よく見る以外ないのではないか。

岡前　オフェンス、ディフェンスが同時にぶつかっている様な場合、よくディフェンスの反則がとられるのだが、これは反則ではないのだ。ディフェンスが押しているのか、オフェンス側が押しているのかにポイントがある。

光島　ボールの位置とレフェリーの位置どりについて考えてみよう。

岡前　ボールの真後ろにいてはプレーが見えない。基本的にはボールの近くに位置するのだが、斜め横が一番見やすいのではないか。ボールの動きに対して見やすい位置に素早く移動することが大切である。タイムアウトの取り方ですが、今日の試合で笛が重なってタイムアウトの笛が何の笛が聞きとりにくい場面があった。どちらがタイムアウトの笛を吹くのか笛の分担が必要だろう。また、方向指示とゼスチァーについては方向指示を最初に行ない、次に必要ならばゼスチュアーをする。

狩野　ボールの保持が変わる反則については、なるべくゼスチュアーを行った方がいい。オーバーステップ、チャージング、ラインクロス等。

斉藤　重大な反則、たとえば警告、退場、ペナルティースローの時などは、ゼスチュアーをして何があったのか観衆にもわかる様にする必要がある。

光島　すべての反則についてゼスチュアーをできればよいのだがその様な余裕が無い場合が多い。しかし斉藤氏がいわれた様に、重大な反則の場合は何の反則があったのか明確にする必要はある。

狩野　プッシングのゼスチュアーを先にしたために、プレーヤーがプッシングなのかオフェンスのチャージングなのかとまどっている場面が見られた。

岡前　基本的に方向指示を先にすれば問題は起きないと思う。その後必要ならばゼスチュアーをする。

狩野　現在走りながらフリースローを行なっている選手が目立つが、フリースローはポイントにきちんと止まってさせるべきだ。

千野　反則で相手のボールになった時、直ぐボールを下に置かずころがしたプレーが試合中ありましたが。

斉藤　すぐ下に置かなかったというだけで退場にするレフェリーがいると聞いたが、それは恐しい事である。

岡前　ボールを置かなかったというだけで退場にはできない。自分のチームが不利になるにもかかわらず相手チームにボールを投げ返したプレーヤーを退場にできないだろう。自然の形でボールを放した者を罰することはできない。自分のチームを有利に操作したかどうかが問題となる。

島田　試合を見ていてGRの動きが少ないように思えたのだが。

岡前　ブラインドを作らぬ様見やすい位置に移動する事は必要である。視野の広がる位置に動く。それはCR、GR両方にいえる事だ。

北井　レフェリーは一試合中ずっと緊張感を保たねばならない。そのための工夫としてCRからGRに変わる時に規則的に変わるだけではなく、時には相手のレフェリーの注意を高めるために意識して位置を変えてみるのもよい。

ベンチのマナーについてですが、無理にベンチを押えつける必要性があるのか。たとえば、ナイスディフェンスなどの声に対して。

岡前　教育的な立場と現実、相手チームまたはレフェリーに対しての誹謗と自チームに対しての激励を区別して悪いマナーについては注意、くり返せば警告を適用する。

（3月27日）

5　昨日問題になった点についての質疑応答

岡前　段階的適応という事について考えてゆきたいと思います。私はラフプレーについての段階的適応を重視していますが。

佐分　ではくり返し行なわれる小さな反則に対しての段階的適応をどのようにすればよいのか。

岡前　ボールを取ろうとして起

きる反則についての適応はむずかしい。ボールを取ろうとして起きる反則に対して厳しく適応させてゆくとボールを扱う事ができなくなってしまい、ハンドボールの本質からはずれてしまう。重要なのはボールに対してではなく身体に対するアタックに対して段階的に適応させてゆく事である。

斉藤　レフェリーは反則をとろうとするのではなく、反則をさせない様に働くべきではなかろうか

井上　フリースローの際、3m以内に近づく選手に対しての段階的適応は？

岡前　プレーヤーをまず正しい位置につかせることが大切である。その上で近づいてくる選手がいればその選手は警告となる。

北井　フリースローの件はそれ程力んで考える事ではないのではないか。レフェリーがポイントに立って「3m離れろ」と、とにかく丁寧に行なえば選手はわかるしそれについてくるのではないか。レフェリーはその事を粘り強く行なう事が必要ではないか。フリースローの距離を保たせる事にルーズなレフェリーが多い。その点を改めてほしい。3mの距離を保たせるのも一つの技術としてレフェリーは習慣づけてほしい。

福田　国際大会では一度ゼスチュアーで3m離させるとその後はすげにイエローカードを出しているレフェリーがいましたが…

岡前　この件に関してだけではないが国際試合と国内の笛の認識は違うのではないか。国際試合においては親切心は重要ではなく、ルールにのっとった厳しいレフェリングが必要となる。しかし、ハンドボールの本質としてはまず正しい位置につかせる事が大切である。ルーズなプレーに対しては厳しい判定が必要である。

清水　警告と退場にあたいするプレーの明確な差はどこにあるのか。

岡前　判定の基準はルールとレフェリー間の話し合いの上に作られてゆくものである。

光島　ルールの抵触する様な行動が相手に対して不利益をあたえるかどうか。それを認めてゆくとだんだんとエスカレートしてゆく。それの防禦のためのラインを明確に説明はできないが、我々レフェリーは頭の中に持っている。

北井　ハンドボールの理念を阻害する一つの要因にファールがある。しかし阻害する要因でもそれが微々たるものであれば見逃す事もある。それはルールブックにのっとって我々なりの基準でレフェリングをする。逆にスタートはそれだが、プレーナーも監督も観衆をも含めて試合を見ているすべての人たちから改めて試合を阻害するものが他にもあるというフィードバック現象をもらう。それによって自分がルールブックに基いて審判をしたのだけれども、それらのものとずれていたのならそれを修正しなければならない。いろいろな観点から小さな反則でもそれが重大なゲームを阻害している因子であるならば、次の機会にはそれはイエローカード等で処理しなければならないだろう。

佐分　清水先生は、なぜ段階的適応というルールが出てきたのかとお考えですか。

清水　一つのプレーが最初警告であっても、その次に同じプレーが起こればそれは退場となると私は思う。一つの試合の中で流れや時期があり、同じプレーでも判定は違ってくる。そこでなぜ段階的適応ができたのかというと、警告にあたいしない様なプレーでもそれを何度も行なえばそれはハンドボールを阻害する要因となる。それを判定するために段階的適応というのが出て来たのではないか。

佐分　私は、クリーンハンドボールの一番のねらいどころと早くラフプレーの芽をつぶすために段階的適応が出て来たと思う。早く芽をつぶすためには早く適応させる必要がある。クリーンハンドボールの理念はまだ模索中である。

北井　ルールの原点を考えるとファールは悪い事だという考えとファールをするのも技術であるという考えがある。私は両方の考え方を否定はしないのだが、ファールも技術なのだという考え方からすると、ファールする技術の優劣で勝敗が左右される場合が多くなる危険性がある。そうするとスポーツの本質から逸脱するし評価されないスポーツになってしまう。それでクリーンハンドボールが出て出た。スポーツとしての価値を認めてゆくためには、ファールをしたら不利になるのがルールの根底である。ところが、ハンドボールの場合は重大な反則については不利益が生ずるが、小さな反則についてはあいまいである。ペナルティにも退場にもならない様なファールは、うまくやればゲームを有利に導く技術であると考えられる。やりどくという考え方があるその様なものに対して段階的適応が生れて来たのではないか。ではどうすればよいのかという点についてはまだ結論が出ていないのですが、そこは我々が研究し考えてゆく分重なのでしょう。

岡前　ルールの適応と技術を生かすという二面性が、ハンドボールのレフェリーのむずかしい所である。ボールを持っている者が不利になる様な反則に対しては注意を与えて早くその芽をつむ。そうすればある程度クリーンなハンドボールができる。また、ラフなプレーに対しては最初から厳しく対

処する。

光島　重大な反則には明らかに規定されたものがあるが、微反則に対しては、微反則そのものがハンドボールのよさとも考えられる。これもあいまいではあるが。

岡本　クリーンハンドボールといわれているものの中で、大きなファールについては今共通の認識が生れて来ている。それを見逃したレフェリーは、荒い試合を許したという評価を受ける。選手もまた荒いプレーをしなくなって来た。しかし、小さなファールについてのクリーンさというものがはっきりつかめない。観衆が見た時にそこの範囲をレフェリーがどの程度許容しているか、またこまかくとっているかによって評価を受ける時に、自分ではハードな良い試合だと思っても「荒いプレーを見逃していく今日の試合は何だ」といわれる事がよくある。その辺のあいまいさをもう少し明確にできないか。

北井　この様な事はこのメンバーだけで考えるには恐れ多い事であると思う。すべてのハンドボールの関係者が一つの共通意識というものを求めなければハンドボールというものは中ば誤解されたままで終ってしまう。それは本当にこれから解決されなければならない問題である。ただ私個人はあいまいさで良いと考えたくないのだが、あいまいさと指摘されればあいまいさとして裁けなかったケースは沢山ある。あいまいさのままで放置せざるを得なかったという事は多く経験している。ただそれが良いとは思っていない。

光島　ただそれで良いと思っていないけれどもこれに対する根拠というものもある。ルール13の6はこれを示している。

岡前　現実的にはあいまいな点があってもそれはレフェリーの主観にまかされる様になっているのがハンドボールのレフェリーであると思う。ボールを持っている者が不利になるようなものに対してはやはりとってゆかねばならない。しかし、現実的にはむずかしい点が多い。反則に対してすべて笛を吹けばプレーが止まってしまい、ハンドボールらしさが無くなってしまう。ハンドボールの特性を生かすために反則なのだけれどもそれを見送って次のプレーを生かすようにする。あいまいだという点には次のプレーを生かそうとする目的もある。それが段々エスカレートしてゆきラフにつながる様なものは早く処理しなければならない。そこまでしか具体的にいえないのではないか。

新井　たとえば、制限時速40kmの道を50kmで車がどんどん流れていれば警官も認めている。これは徴罰である。この道を100kmで走行すればつかまえる。その辺でおのずから決っているのではないか。

岡本　たとえば、ポストプレーヤーがエリア内を走る事についてはなぜ反則をとる時ととらない時があるのだと聞かれる。全部とるならとれという声もある。それに対してわれわれはどう説得力を持たせるかというとなかなか説得できない。

新井　その時は不当な利益を得ているかどうかが問題なのだ。行動規範というものがあって、それをすることによって不当な利益を得るか得ないかによってその事が罰せられるか罰せられないかが決るのではないか。

岡前　ルール上ではすべてに笛を吹けとなっている。しかし、実際には笛を吹かなくてもよい面が多い。厳しくルールを適応させて笛を吹いても間違いではない。反則を厳しく、身体接触を厳しくとり、クリーンハンドボールができたから評価の上で良いレフェリーかというと必ずしもそうではない。

清水　私い軽い反則でも反則のあった時にいちいち「押してはいけない、つかんではいけない」の言葉や態度で示してそれで止まらない時に私は警告をとっているのですが、先ほど言葉でいわないで警告のプレーになったら警告をとるという意見があったのですが、具体的にはどういう事なのですか

後藤　言葉で注意してから警告をとるというのですが、すべての反則に言葉で注意などできないのではないのですか。

岡前　具体的には危険なプレーにつながる様な反則、たとえばジャンプしている者を押すなどというものに関しては、注意をあたえなお押してくれれば警告や退場になる。それはレフェリーが見て判断する。

斉藤　私はこのプレーは何回続けても警告につながってゆかないと思われる反則と警告や退場につながってゆく反則と分けて考えている。つながってゆきそうだという反則についてはゼスチュアーでやるなと示している。言葉はほとんど使わない。

新井　悪い芽はつまなければならないのだが、何もかもつめば良いというものではない。タイミング等もあるし……。

岡前　具体的にあいまいな部分をはっきりしろといってもむずかしい。レフェリーは自分の経験の中でボールを持っている者が不利になる様な時には必ず笛を吹いているし、危険なプレーに対しては注意を与えて警告をとっている。基準は、皆なが実際に見ていてこの様なプレーはどうなのかと判断して自分なりの基準を決めている。ラフプレーにつながるプレーは、早期につみとることが重要である。

井上　ユニフォームの上着を出しているチームがあるが、その点についてはどうなのですか。

岡前　日本のチームに対しては何か指導する必要性があれば指導するが、世界的に見れば規制できないのではないか。

6　ゼスチュアーの確認と統一

○昨今、レフェリーのゼスチュアーが正しく行なわれていない。IHFの17のゼスチュアーを適確に行ない、その指導に努める。国際審判員が模範を示し、良い、正しいゼスチュアーでゲーム運営をする

＜今後の研修会の指針＞

①原則として毎年行なう

○できれば合宿、会食をして話し合いの場を多くもつ。

②時期

○来年度は高校選抜に合わせて実施する。

○可能ならば第1日目に実技研修を実施する。

○公文書を出す。

③テーマについて

○個人でテーマを決め研修をしそれを提出してほしい。

○強化部門からも出席してもらい共に研修する。

④幹事について

○幹事（司会者）は持ち廻りとする。来年度は佐分氏に決定。


すばらしいキャッチング感
ミカサ
ハンドボール
世界の
ビッグゲームはミカサ
数多くの国際大会で輝かしい実績
1981 中央アフリカンゲーム(アンゴラ)
1981 世界選手権ジュニア(ポルトガル)
1982 アジア競技大会(インド)
MIKASA
MG
HAND BALL
NO-3
MADE IN JAPAN
OFFICIAL
SIZE-WEIGHT
NYLON
WOUND
国際ハンドボール連盟
公認球
OFFICIAL BALL APPROVED
日本ハンドボール協会
検定球
MIKASA®
明星ゴム工業株式会社
本 社/〒733 広島市西区楠木町3丁目11-2 ☎(082)237-5145(代)
営業所/広 島・東 京・大 阪・名古屋・福 岡
ロサンゼルスオリンピック公式試合球 ★ミカサバレーボール ★ミカサウォーターポロボール


ブラザー電子タイプライターが
1984年ロサンゼルス
オリンピックの
公式タイプライターに
選ばれました。
brother
Electronic
Office
Typewriters
brother®
ブラザー工業株式会社

各地学生春季リーグ戦結果
(東北、関東、関西、中四国、北九州)

■東北学生春季リーグ戦

(5月12～14日)

▽男子1部

福島大 13－10 仙台大
東北大 15－12 岩手大
東北学院大 15－15 宮城教育大
岩手大 19－15 福島大
仙台大 15－14 宮城教育大
東北学院大 14－12 東北大
東北学院大 19－15 岩手大
仙台大 17－14 東北大
福島大 21－15 宮城教育大
東北学院大 13－12 仙台大
岩手大 19－14 宮城教育大
福島大 11－9 東北大
東北大 20－8 宮城教育大
仙台大 15－10 岩手大
福島大 16－13 東北学院大

(順位)①福島大②東北学院大③仙台大④東北大⑤岩手大⑥宮城教育大

○得点王
柏舘秀一(岩手大)34点

▽男子2部

山形大 38－12 東北工大
弘前大 20－14 東北学院工
日大工 21－10 秋田大
山形大 38－7 東北学院工
東北工大 22－14 秋田大
弘前大 16－14 日大工
東北学院工 20－18 日大工
東北工大 22－11 弘前大
山形大 22－8 秋田大
東北工大 29－11 日大工
秋田大 20－12 東北学院工
山形大 27－11 弘前大
東北学院工 19－15 東北工大
山形大 24－15 日大工
弘前大 12－0 秋田大

(順位)①山形大②東北工大③弘前大④東北学院工⑤日大工⑥秋田大

▽女子

岩手大 23－3 宮城教育大
岩手大 14－2 福島大
福島大 13－4 宮城教育大

(順位)①岩手大②福島大③宮城教育大

○得点王
川村ゆりえ、藤原佳代子(共に岩手大)12点

■関東学生春季リーグ戦

▽男子2部
(4月22日～5月22日)

順天大 20－17 明星大
東海大 32－18 上智大
東学大 30－17 横浜国大
茨城大 25－20 東 大
順天大 27－16 横浜国大
茨城大 20－16 上智大
東海大 33－19 東 大
東学大 30－20 明星大
東学大 25－19 東 大
東海大 31－15 横浜国大
茨城大 26－15 横浜国大
順天大 25－12 上智大
東学大 29－18 上智大
茨城大 20－18 明星大
順天大 32－16 東 大
東海大 34－23 横浜国大
上智大 20－18 横浜国大
東 大 27－17 明星大
東海大 31－20 東学大
茨城大 26－23 順天大
東学大 24－21 茨城大
明星大 19－14 上智大
東 大 27－19 横浜国大
東 大 23－18 上智大
東海大 25－15 順天大
明星大 24－12 横浜国大
東海大 30－12 茨城大
順天大 27－22 東学大

(順位)①東海大②順天大③東京学芸大④茨城大⑤東大⑥明星大⑦茨城大⑧横浜国大

▽男子3部
(4月30日～5月20日)

芝浦工大 23－17 神奈川大
専 大 33－8 立 大
明 大 28－14 防 大
芝浦工大 24－13 立 大
東理大 22－19 大東大
明 大 21－19 神奈川
大東大 23－23 立 大
立 大 22－20 東理大
専 大 28－15 東理大
芝浦工大 22－15 防 大
芝浦工大 26－18 東理大
大東大 23－23 神奈川大
専 大 36－18 防 大
明 大 33－24 立 大
専 大 27－18 明 大
立 大 20－19 防 大
芝浦工大 25－23 大東大
神奈川大 23－17 東理大
東理大 21－19 明 大
専 大 27－8 大東大
芝津工大 24－21 明 大
大東大 27－22 防 大
防 大 21－20 神奈川大
神奈川大 25－17 立 大
東理大 20－17 防 大
明 大 26－18 大東大
芝浦工大 24－24 専 大

(順位)①専修大②芝浦工大③明治大④東理大⑤神奈川大⑥立大⑦大東文化大⑧防衛大

▽男子4部
(4月28日～5月21日)

千葉工大 21－15 創価大
東農大 31－22 横浜商大
横浜商大 21－17 埼玉大
武蔵工大 26－24 一橋大
東農大 22－14 埼玉大
一橋大 19－17 創価大
武蔵工大 17－16 文教大
千葉工大 19－14 埼玉大
埼玉大 22－20 一橋大
武蔵工大 25－16 創価大
横浜商大 15－14 文教大
千葉工大 27－11 東農大
東農大 22－22 一橋大
武蔵工大 27－21 横浜商大
千葉工大 19－13 武蔵工大
文教大 26－16 埼玉大
東農大 30－20 創価大
文教大 21－17 一橋大
文教大 21－16 千葉工大
横浜商大 23－22 一橋大
埼玉大 29－19 創価大
千葉工大 28－20 横浜商大
東農大 21－20 武蔵工大
一橋大 24－19 千葉工大
東農大 19－14 文教大
創価大 29－19 横浜商大
埼玉大 20－20 武蔵工大

(順位)①東京農業大②千葉工大③武蔵工大④文教大⑤横浜商大⑥一橋大⑦埼玉大⑧創価大

▽男子5部

（4月28日～5月22日）

和光大 25－24 青学大
関学大 29－18 東経大
日工大 16－14 独協大
独協大 15－14 東経大
和光大 28－27 武蔵大
関学大 29－21 日工大
青学大 22－18 都留文大
和光大 29－29 関学大
武蔵大 26－19 日工大
青学大 19－16 東経大
都留文大 21－19 独協大
武蔵大 31－20 関学大
都留文大 21－14 東経大
青学大 22－19 独協大
独協大 24－16 武蔵大
東経大 27－21 和光大
関学大 23－22 青学大
都留文大 16－14 日工大
青学大 29－21 武蔵大
日工大 27－20 東経大
関学大 46－24 独協大
都留文大 25－19 和光大
青学大 31－18 日工大
武蔵大 31－26 東経大
和光大 17－15 独協大
関学大 22－16 都留文大
日工大 26－21 和光大
武蔵大 31－19 都留文大

（順位）①関東学院大②青山学院大③武蔵大④都留文科大⑤和光大⑥日本工業大⑦独協大⑧東京経済大

▽男子6部
（4月28日～5月19日）

亜大 26－22 都立大
玉川大 30－22 東外大
千葉大 20－19 横浜市大
千葉大 14－12 東工大
亜大 19－16 横浜市大
東洋大 19－14 東外大
都立大 34－22 玉川大
横浜市大 22－17 東外大
都立大 20－14 東工大
千葉大 23－13 東洋大
亜大 28－14 玉川大
東洋大 33－17 玉川大
都立大 39－18 東外大
亜大 24－15 千葉大
横浜市大 28－19 玉川大
東工大 20－20 東洋大
亜大 28－10 東洋大
都立大 24－24 横浜市大
千葉大 30－17 玉川大
東工大 26－18 東外大
都立大 23－14 千葉大
横浜市大 24－16 東洋大
亜大 18－16 東外大
東工大 27－15 玉川大
横浜市大 19－17 東工大
千葉大 26－15 東外大
都立大 22－21 東洋大
亜大 18－10 東工大

（順位）①亜細亜大②都立大③千葉大④横浜市大⑤東京工大⑥東洋大⑦玉川大⑧東京外国語大

▽男子7部
（4月28日～5月19日）

拓大 23－18 農工大
明学大 25－10 麗沢大
成蹊大 23－19 工芸大
山梨大 20－9 産能大
工芸大 28－22 産能大
成蹊大 23－18 拓大
明学大 29－12 農工大
麗沢大 13－13 山梨大
拓大 27－12 産能大
明学大 36－14 工芸大
麗沢大 23－22 農工大
成蹊大 12－9 山梨大
工芸大 19－14 麗沢大
明学大 23－18 拓大
成蹊大 22－6 産能大
山梨大 16－7 農工大
成蹊大 29－9 農工大
麗沢大 29－7 産能大
拓大 不戦勝 工芸大
明学大 不戦勝 山梨大
成蹊大 16－14 明学大
麗沢大 22－20 拓大
農工大 29－14 産能大
山梨大 19－19 工芸大
成蹊大 不戦勝 麗沢大
明学大 33－3 産能大
工芸大 21－18 農工大
山梨大 20－15 拓大
山梨大 20－9 産能大

（順位）①成蹊大②明治学院大③山梨大④麗沢大⑤東京工芸大⑥拓殖大⑦東京農工大⑧産業能率大

▽女子2部
（4月27日～5月25日）

都留文大 22－2 駒大
東海大 37－5 横浜国大
千明短大 37－5 駒大
都留文大 22－10 創価大
文教大 12－5 千葉大
千明短大 29－8 横浜国大
駒大 11－10 文教大
創価大 15－6 千葉大
横浜国大 20－8 千葉大
都留文大 16－4 文教大
東海大 38－7 駒大
東海大 不戦勝 千葉大
千明短大 37－7 創価大
文教大 5－4 横浜国大
都留文大 18－9 千葉大
創価大 16－9 横浜国大
横浜国大 20－11 駒大
文教大 16－9 創価大
東海大 36－6 都留文大
創価大 24－11 駒大
駒大 15－14 千葉大
千明短大 23－8 文教大
千明短大 32－3 千葉大
横浜国大 16－13 都留文大
東海大 30－4 創価大
千明短大 18－10 都留文大
東海大 27－7 文教大
千明短大 16－15 東海大

（順位）①千葉明徳短大②東海大③都留文科大④文教大⑤横浜国立大⑥創価大⑦駒沢大⑧千葉大

関西学生春季リーグ戦

▽男子1部
（4月24日～5月22日）

同大 23－11 関学大
近大 21－20 大経大
京産大 25－20 大経大
近大 28－22 阪大
大体大 41－14 関学大
大体大 30－12 近大
阪大 25－19 京産大
同大 26－20 京産大
関学大 20－15 大経大
大体大 30－16 阪大
同大 30－15 近大
阪大 21－14 関学大
大体大 39－17 京産大
近大 26－20 関学大
同大 30－21 大経大
京産大 25－19 関学大
阪大 32－20 大経大
大体大 21－17 同大
京産大 23－18 近大
同大 27－14 阪大
大体大 36－16 大経大

（順位）①大阪体育大②同志社大③大阪大④京都産業大⑤近畿大⑥関西学院大⑦大阪経済大

▽**男子2部**
（4月17日～5月21日）

京教大 26－15 神大
天理大 23－15 京大
大院大 30－14 大府大
京教大 21－15 大院大
大院大 18－17 神大
関大 23－10 大府大
京大 13－13 京教大
天理大 34－13 大府大
関大 22－15 京大
関大 23－17 神大
天理大 23－15 京教大
大院大 17－12 京大
京教大 24－7 大府大
関大 19－12 大院大
神大 19－13 天理大
京大 18－9 神大
天理大 26－17 関大
京大 24－13 大府大
神大 16－13 大府大
天理大 25－19 大院大
関大 21－19 京教大

（順位）①天理大②関西大③京都教育大④京都大⑤大阪学院大⑥神戸大⑦大阪府立大

▽**男子3部**
（4月11日～5月20日）

大市大 35－18 追大
和大 22－3 滋大
奈教大 25－9 滋大
和大 30－20 奈教大
大市大 22－16 大教大
和大 43－13 追大
奈教大 20－14 大教大
滋大 23－19 大市大
和大 26－13 大教大
奈教大 22－21 立命大
大教大 23－19 立命大
和大 21－18 大市大
立命大 23－11 追大
大教大 17－16 滋大
立命大 17－17 滋大
奈教大 23－20 追大
和大 24－20 立命大
大教大 23－12 追大
立命大 22－19 大市大
奈教大 27－21 大市大
滋大 27－19 追大

（順位）①和歌山大②奈良教育大③大阪教育大④立命館大⑤滋賀大⑥大阪市立大⑦追手門学院大

▽**男子4部**
（4月11日～5月21日）

甲南大 26－9 大工大
桃山大 12－0 京外大
大工大 19－17 仏大
甲南大 21－17 桃山大
竜谷大 27－21 京外大
仏大 17－16 甲南大
竜谷大 25－9 仏大
甲南大 21－13 関外大
京外大 18－16 大工大
竜谷大 14－11 関外大
桃山大 36－17 仏大
仏大 26－23 京外大
関外大 21－12 大工大
甲南大 29－10 京外大
竜谷大 26－21 桃山大
関外大 25－16 京外大
桃山大 26－20 関外大
竜谷大 28－10 大工大
甲南大 19－14 竜谷大
仏大 17－17 関外大
桃山大 36－17 大工大

（順位）①甲南大②竜谷大③桃山学院大④関西外語大⑤仏教大⑥京都外語大⑦大阪工業大

▽**男子5部**
（4月11日～5月19日）

京工大 26－15 奈大
神船大 31－16 京府大
八代大 31－18 奈良大
大歯大 24－11 京府大
神院大 18－10 大薬大
大外大 32－11 姫工大
京工大 17－15 八代大
大薬大 26－18 大歯大
大外大 18－13 奈良大
京工大 28－7 姫工大
神船大 29－18 大歯大
神院大 38－15 京府大
八代大 26－19 大外大
奈良大 33－12 姫工大
大薬大 28－25 京府大
八代大 42－9 姫工大
神船大 31－22 大薬大
大外大 22－22 京工大
神船大 25－23 神院大
神院大 31－20 大歯大
京府大 19－17 姫工大
奈良大 22－20 大歯大
大外大 21－16 大薬大
八代大 29－20 神院大
神船大 24－17 京工大

（順位）①神戸商船大②京都工芸繊維大③八代大④神戸学院大⑤大阪外語大⑥大阪薬科大⑦奈良大⑧大阪歯科大⑨京都府大⑩姫路工大

▽**女子1部**
（4月24日～5月22日）

大教大 22－8 京教大
大体大 45－8 天理大
武庫川大 40－1 和大
大教大 23－14 天理大
大体大 46－4 和大

武庫川大 40－6 成蹊大
天理大 20－9 成蹊大
京教大 5－5 和大
武庫川大 29－1 京教大
天理大 16－9 和大
大体大 38－5 京教大
武庫川大 33－6 天理大
大教大 21－3 和大
成蹊大 11－10 和大
大体大 21－9 大教大
大体大 30－4 成蹊大
武庫川大 12－8 大教大
成蹊大 15－7 京教大
天理大 13－8 京教大
大教大 18－13 成蹊大
大体大 15－11 武庫川大

〔順位〕①大阪体育大②武庫川大③大阪教育大④天理大⑤成蹊大⑥京都教育大⑦和歌山大

▽女子2部

奈女大 8－6 京女大
滋大 11－3 関大
大薬大 9－3 京女大
関学大 11－6 関外大
関大 11－9 関外大
大薬大 8－4 奈女大
滋大 11－7 京女大
関学大 12－5 奈女大
関大 16－8 京女大
関外大 15－4 奈女大
大薬大 13－11 関学大
関大 10－9 関学大
関外大 18－12 大薬大
滋大 10－5 大薬大
関学大 14－4 京女大
関外大 11－6 京女大
大薬大 12－12 関大
滋大 13－2 奈女大
滋大 7－6 関学大
関外大 7－5 滋大
関大 12－9 奈女大

〔順位〕①滋賀大②関西大③関西外語大④大阪薬科大⑤関西学院大⑥奈良女子大⑦京都女子大

▽女子3部

（4月11日～5月21日）

京府大 9－7 大谷大
神大 17－6 奈教大
京府大 15－5 奈教大
大谷大 12－6 神大
大外大 12－0 追大
奈教大 12－0 追大
大外大 16－4 園田大
仏大 12－10 京府大
大外大 10－7 大谷大
京府大 12－0 追大
仏大 10－7 奈教大
園田大 12－0 追大
大谷大 5－3 仏大
奈教大 15－7 大外大
仏大 12－0 追大
奈教大 9－7 園田大
仏大 20－8 神大
大外大 9－9 神大
園田大 12－8 京府大
仏大 15－7 園田大
奈教大 7－5 大谷大
神大 12－0 追大
大谷大 12－0 追大
京府大 12－10 大外大
神大 23－10 園田大
仏大 14－5 大外大
大谷大 13－3 園田大
神大 10－9 京府大

〔順位〕①仏教大②神戸大③京都府立大④奈良教育大⑤大谷大⑥大阪外語大⑦園田学園大⑧追手門学院大

中四国学生春季リーグ戦

（5月21、22日、28、29日）

▽男子1部

愛媛大 19－13 広島大
愛媛大 21－14 修道大
愛媛大 22－22 広島工大
愛媛大 21－14 鳥取大
広島大 22－15 修道大
広島大 23－16 広島工大
広島大 31－19 鳥取大
鳥取大 29－23 修道大
鳥取大 27－18 広島工大
修道大 17－14 広島工大

〔順位〕①愛媛大②広島大③鳥取大④修道大⑤広島工大

▽男子2部

島根大 29－26 高知大
島根大 27－24 岡山大
島根大 29－20 徳島大
島根大 31－21 山口大
岡山大 21－12 高知大
岡山大 29－14 徳島大
岡山大 27－22 山口大
山口大 18－15 高知大
山口大 23－18 徳島大
高知大 19－18 徳島大

〔順位〕①島根大②岡山大③山口大④高知大⑤徳島大

▽男子3部

松山商大 22－17 香川大
松山商大 20－14 近畿大呉
松山商大 28－12 山口大工
香川大 34－19 山口大工
香川大 26－17 近畿大呉
山口大工 19－16 近畿大呉

〔順位〕①松山商大②香川大③山口大工④近畿大呉

▽女子

山口大 19－11 高知大
山口大 21－16 岡山県短
山口大 22－18 岡山大
岡山県短 15－12 岡山大
岡山県短 19－9 高知大
高知大 11－9 岡山大

〔順位〕①山口大②岡山県短③高知大④岡山大

北九州学生春季リーグ戦

▽男子1部

福岡大 19－13 九州産大
福岡大 23－14 西南大
福岡大 25－20 久留米工大
福岡大 17－17 福岡教大
九州産大 30－16 西南大
九州産大 21－18 久留米工大
九州産大 20－17 福岡教大
久留米工大 35－24 西南大
久留米工大 17－16 福岡教大
福岡教大 24－23 西南大

〔順位〕①福岡大②九州産業大③久留米工業大④福岡教育大⑤西南大

▽男子2部

九州大 21－20 長崎大
長崎大 26－14 共立大
長崎大 26－15 九州工大
長崎大 21－18 西日本工大
共立大 20－19 九州大
九州大 21－14 九州工大
九州大 25－10 西日本工大
共立大 30－15 九州工大
共立大 23－16 西日本工大
西日本工大 15－14 九州工大

〔順位〕①長崎大②九州大③共立大④西日本工業大⑤九州工業大

▽男子3部

東和大 24－17 福岡工大
東和大 15－9 産医大
産医大 18－10 福岡工大

〔順位〕①東和大②産医大③福岡工業大

▽女子

福岡教大 14－11 福岡大
福岡教大 18－15 九州女短大
福岡教大 36－4 長崎大
福岡大 16－13 九州女短大
福岡大 30－1 長崎大
九州女短大 26－4 長崎大

〔順位〕①福岡教育大②福岡大③九州女子短大④長崎大

各地の記録

◇和歌山県春季総合選手権

（4月29～5月1日）

＜一般男子＞

▽1回戦

和歌山医大 23—15 応神ク

和歌山工専 30—22 和歌山ク

▽2回戦

県和歌山商ク 26—13 和歌山医大

丸善石油 27—16 桐蔭ク

住友金属 35—15 那賀ク

御坊ク 27—20 和歌山高専

▽準決勝

県和歌山商ク 27—18 丸善石油

住友金属 21—20 御坊ク

▽決勝

住友金属 19（8—9、11—9）18 県和歌山商ク

＜一般女子＞

▽決勝（1試合のみ）

和歌山ク 12（6—0、6—0）0 御坊ク

＜高校男子＞

▽1回戦

新宮高 12—0 海南高

耐久高 42—10 和歌山東高

那賀高 14—10 箕島高

御坊商工 21—18 市和歌山商高

▽2回戦

県和歌山商高 29—10 新宮高

桐蔭高 20—14 耐久高

笠田高 24—13 那賀高

粉河高 23—15 御坊商工

▽準決勝

県和歌山商高 20—7 桐蔭高

笠田高 21—18 粉河高

▽決勝

県和歌山商高 21（12—11、9—6）17 笠田高

＜高校女子＞

▽1回戦

新宮高 12—0 那賀高

笠田高 13—10 御坊商工

▽準決勝

粉河高 13—5 新宮高

県和歌山商高 22—8 笠田高

▽決勝

粉河高 19（7—1、12—0）1 県和歌山商高

＜中学男子＞

▽リーグ戦

那賀中 15—12 白馬中

貴志川中 23—12 金屋中

岩出中 37—8 那賀中

白馬中 14—14 金屋中

岩出中 24—13 貴志川中

貴志川中 16—9 白馬中

那賀中 21—8 金屋中

岩出中 27—6 白馬中

那賀中 20—6 貴志川中

岩出中 30—7 金屋中

〔順位〕①岩出中②那賀中

＜中学女子＞

▽リーグ戦

貴志川中 7—6 岩出中

那賀中 10—7 桃山中

岩出中 12—9 金屋中

貴志川中 15—12 那賀中

金屋中 12—4 桃山中

那賀中 14—5 金屋中

貴志川中 9—3 桃山中

岩出中 14—10 那賀中

貴志川中 9—4 金屋中

岩出中 15—4 桃山中

〔順位〕①貴志川中②岩出中

◇第13回鳥取県室内総合選手権

（3月27日、4月10日）

＜男子＞

▽1回戦

倉吉ク 25—10 市役所

倉吉工高 25—15 米子東高

米子北高 23—19 わかとりク

▽2回戦

境港市ク 30—13 倉吉ク

中部ク 30—16 工専

境港工高 21—11 倉吉工高

境高 31—16 米子北高

▽準決勝

境港市ク 20—14 中部ク

境高 25—11 境港工高

▽決勝

境港市ク 28（12—6、16—6）12 境高

＜女子＞

▽1回戦

米子北高 17—4 倉吉西高

米子南商高 25—8 倉吉産高

境高 16—11 米子東高

▽2回戦

米子北高 11—6 アシックスク

境高 10—9 米子南商高

▽決勝

米子北高 15（7—6、8—3）9 境高

◇長崎県中学・一般春季選手権

（4月17、24日）

＜中学男子＞

▽1回戦

戸町中 15—11 時津中

▽2回戦

大瀬戸中 28—8 深堀中

戸町中 棄権 大野中

▽決勝

戸町中 23（12—3、11—2）5 大瀬戸中

＜中学女子＞

▽決勝（1試合のみ）

清水中 22（12—1、10—4）5 長崎中

＜一般男子＞

▽1回戦

長崎大 28—26 九十九ク

▽2回戦

佐世保ク 29—18 長崎ク

ロ加ク 28—19 長崎大

▽決勝

長崎大 26（15—14、11—10）24 ロ加ク

＜一般女子＞

▽決勝（1試合のみ）

長崎ク 22（9—4、13—5）9 長崎大

◇三重県春季大会

（4月24、29日）

＜一般男子＞

▽1回戦

尾鷲ク 棄権 皇学館大
鵜ノ森ク 28−9 半田ク
三重大 両者棄権 鷲球会
セブンスターズ 29−21 中央ク

▽2回戦

本田技研 41−6 尾鷲ク
鵜ノ森ク 棄権 鳥羽商船
本田爽風会 両者棄権の為
セブンスターズ 31−24 三重教員

▽準決勝

本田技研 棄権 鵜ノ森ク
本田爽風会 棄権 セブンスターズ

▽決勝

本田技研 26（15−8、11−7）15 本田爽風会

＜高校男子＞

▽1回戦

桑名西 19−4 津
津工 21−10 四日市中央工
海星 24−15 星第二
亀山 23−17 桑名工
四日市南 34−10 桑名北
桑名 52−6 高田

▽2回戦

四日市工 42−6 桑名西
海星 14−8 津工
四日市西 32−15 亀山
桑名 22−14 四日市南

▽準決勝

四日市工 30−16 海星
桑名 21−12 四日市西

▽3位決定戦

四日市西 24−10 海星

▽決勝

四日市工 24（11−6、13−7）13 桑名

＜高校女子＞

▽1回戦

上野 26−3 四日市西
尾鷲 23−8 四日市
四日市南 棄権 津

▽2回戦

亀山 23−7 桑名
暁 14−10 上野
四日市商 10−3 尾鷲
津東 16−3 四日市南

▽準決勝

暁 20−6 亀山
四日市商 11−3 津東

▽3位決定戦

津東 19−9 亀山

▽決勝

暁 15（8−3、7−2）5 四日市商

＜中学男子＞

▽1回戦

菰野 16−11 亀山

▽2回戦

白子 20−11 明和
西笹川 22−9 富田
東員 16−13 西朝明
鼓ケ浦 15−8 菰野

▽準決勝

西笹川 28−8 東員
白子 16−11 鼓ケ浦

▽決勝

西笹川 26（12−7、14−5）12 白子

＜中学女子＞

▽1回戦

西朝明 18−2 亀山
桔梗が丘 19−4 笹川
羽津 11−8 名張北
大安 22−5 柘植
朝明 22−3 赤目

▽2回戦

西笹川 23−7 西朝明
菰野 17−6 明和
桔梗が丘 22−8 羽津
朝明 19−12 大安

▽準決勝

西笹川 11−8 桔梗が丘
菰野 11−4 朝明

▽決勝

西笹川 21（10−2、11−1）3 菰野

◇福井県前期選手権大会

（4月29、30、5月1日）

＜成年男子＞

▽1回戦

藤島クラブ 29−14 成和送球
福井大 12−0 スターズ

▽2回戦

福井教員 45−6 藤島クラブ
光陽会 24−20 羽球会
レッドボンバーズ 23−19 九頭竜クラブ
北陸電力 33−15 福井大

▽準決勝

福井教員 12−0 光陽会
北陸電力 33−15 レッドボンバーズ

▽決勝

福井教員 29（17−11、12−6）17 北陸電力

＜成年女子＞

▽決勝

全福井 15（6−3、9−0）3 ママさんチーム

＜高校男子＞

▽1回戦

高志 30−8 科技

▽2回戦

北陸A 24−9 高志
福井商 18−13 藤島
羽水 26−5 勝山
北陸B 15−13 武生

▽準決勝

北陸A 23−1 福井商
北陸B 16−14 羽水

▽決勝

北陸A 38（20−6、18−6）12 北陸B

＜高校女子＞

▽1回戦

仁愛女 10−7 北陸
福井商 16−3 羽水
福井女 11−3 科技
高志 14−7 藤島

▽準決勝

仁愛女 14−6 福井商
高志 13−4 福井女

▽決勝

仁愛女 23（11−4、12−1）5 高志

告　知　板

第4回男子ジュニア世界選手権アジア予選参加選手団

第4回男子ジュニア世界選手権大会アジア地区予選は、7月23、24日の両日、中国の北京で開催されますが、その日本代表チームの選手団が発表されました。

選手団は、7月13日から合宿を行ない、20日に大阪空港を出発、23、24日に試合を行なって25日に成田空港に帰国します。

◇選手団◇

○団　長　村田　弘
○監　督　本田　洋
○コーチ　早川清孝
○総　務　北岡大覚
○選　手
GK①宮田　裕己（日大3年）
　⑫渡辺　裕昭（国士舘3年）
　⑯宇田川竜也（明星高3年）
FP②内藤　裕治（日大3年）
　③首藤　信一（日体大1年）
　④加藤　元規（早大3年）
　⑤今村　伸吾（中部工大1年）
　⑥藤井　孝一（法政大2年）
　⑦平林　義規（慶応大2年）
　⑧牧島　伸司（日体大3年）
　⑨奥畑　　理（同志社3年）
　⑩小間　洋一（大体大3年）
　⑪清家　伸二（中央大3年）
　⑬水之江　充（法政大3年）
　⑭武田　英雄（大崎電気）
　⑮朝生　和光（筑波大3年）

第11回インテラムニアカップ出場選手団

7月4日から10日までイタリアのテラモ市で開催される第11回インテラムニアカップに出場する日本の女子チームのメンバーが決定しました。一行は7月2日に成田を出発、第11回インテラムニアカップに出場した後、10日～14日まで同じイタリアのホンジ市で開催されるハンド祭り83に出場、パリ経由で16日に帰国します。

◇選手団◇

○監　督　鈴木義男
○コーチ　谷口俊男
　　　　　山崎　武
○総　務　田川正明
○選　手
GK①大西佐代子（大崎電気）
　⑫竹下香代子（立石電機）
FP②秋成　圭子（大和銀行）
　③若水真由美（大和銀行）
　④武藤夕起子（日本ビクター）
　⑤塩屋　治代（ブラザー工業）
　⑥山岸　和子（日立栃木）
　⑦時実　良枝（大崎電気）
　⑧小口　智子（日体大）
　⑨野嶋ちえみ（立石電機）
　⑩下條千恵子（日本ビクター）
　⑪松尾　輝子（大崎電気）
　⑬山内　香代（立石電機）
　⑭近藤　育子（ジャスコ）
　⑮森山　照美（ブラザー工業）
　⑰服部　淳子（ジャスコ）

7月の黒板

1日　14時30分　財源問題プロジェクト
2日　女子ジュニアチーム　テラモへ向けて出発
7～8日　スポーツ指導者会議
9日　13時　理事会
10日　10時　理事長会
15日　大阪20時　フランスナショナルチーム来日
20日　男子ジュニアチーム　世界選手権アジア地区予選に出発
22～24日　第3回全クラブ選手権大会（岐阜）
25日　男子ジュニアチーム　世界選手権アジア地区予選より帰国
26～30日　教員養成大学研修会（筑波大）
27日　フランスナショナルチーム離日
29～30日　第10回全国高専大会（福井）

編集後記

日本協会にとって今年度の最大の関心事とも言うべきロサンゼルス・オリンピック・アジア地区予選の日本開催が、ようやく決定した。ちょうど本誌の校了間際のニュースであり、AHFからの知らせも詳細については触れられてない為、とりあえず大野専務理事の原稿の末尾にそのニュースだけ付け加えた。これで大きな目標が定まった訳で、予選突破に向けて日本ハンドボール界をあげて全力で支援体制を固めていかなければならない。

高校ハンドボール界にとってのこれまた最大の関心事、夏のインターハイが近づいた。厳しい予選を勝ち抜いた各チーム共間近かに迫った本番に向けて余念のないところだろう。本大会の男女の組合せも7月1日に決定した。各チーム共万全のコンディションで、力いっぱい戦ってもらいたい。

今月号から機関誌年度が新しくなり、新しい読者の方も居られるかもしれない。細々ながらまた、遅々たる歩みながら、少しでも良い機関誌にしていきたいと願っている。よろしく御支援、御協力をお願いしたい。



はるか、上空での空中戦を展開する競技である。
鉄壁の、という形容がふさわしい競技である。
防御から攻撃へ、ひとつの動きで移っていく。
コートという名の戦場では、身につけるウェアも、
作戦のひとつなのだ。バイオメカニクスから生まれた
ハンドボールウェア〈スカイハンド〉。
武器のような7人のために。

asics
Handball Wear
SKYHAND

株式会社アシックス

商品その他お問い合わせは、株式会社アシックス消費者相談課まで。
〒564　大阪府吹田市豊津町2番3号　☎(06)385-1111(大代表)

(財)日本ハンドボール協会編
『ハンドボール』
第二二〇号
昭和四十年六月七日 昭和五八年六月二十五日 印刷
第三種郵便物認可 昭和五八年七月一日 発行

東京[illegible]区神南一ー一ー一
電話[illegible](467)七〇九七
振替 東京 六ー五八三四八番
編集兼発行人 荒川清美
定価三百五拾円
(年間購読料三千三百円)